

平成 27 年 国 勢 調 査
＜ 人口等基本集計結果概要（大阪市）＞

平成 28 年 11 月
大阪市都市計画局

平成 27 年国勢調査＜人口等基本集計結果（大阪市）＞

平成 27 年 10 月 1 日現在で実施した、平成 27 年国勢調査の人口等基本集計結果が、このたび総務省統計局から公表されましたので、大阪市分の概要をお知らせします。

目 次

| | | |
|---|-----------|----|
| 1 | 人 口 | 1 |
| 2 | 年 齢 別 人 口 | 5 |
| 3 | 配 偶 関 係 | 10 |
| 4 | 世 帯 の 状 況 | 13 |
| 5 | 住 居 の 状 態 | 19 |
| 6 | 外 国 人 人 口 | 23 |

人口等基本集計とは

人口等基本集計は、人口、世帯、住居に関する基本的な事項及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計したものである。

詳細な結果は、総務省統計局ホームページ「統計表一覧」をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>

用語の解説

人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいう。

世帯の種類

国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分している。

◆一般世帯…

- ① 住居と生計を共にしている人々の集まり又は1戸を構えて住んでいる単身者
- ② 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

◆施設等の世帯…

寮・寄宿舍の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠（住所）を有しない船舶乗組員など

その他の用語

その他の用語については、総務省統計局ホームページ「平成 27 年国勢調査 調査結果の利用案内 ユーザーズガイド」をご参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>

1 人 口

全国や大阪府が人口減少に転じた一方、大阪市では人口増加が続く。女性の割合も上昇が続く。

人口は 269 万 1185 人

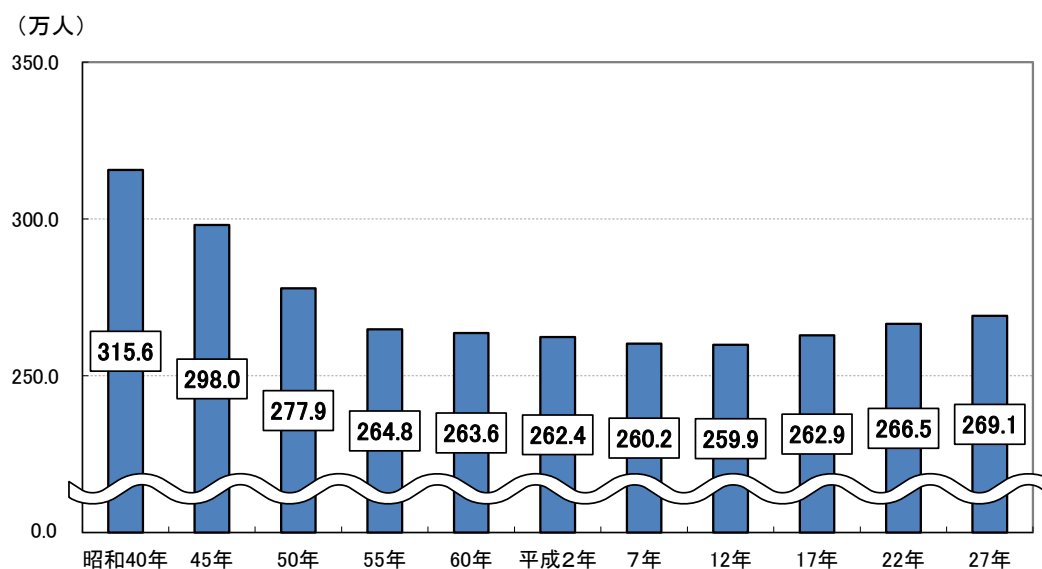
平成 27 年国勢調査における大阪市の人口は、269 万 1185 人となっている。全国では大正 9 年の調査開始以来、初めての減少となり、大阪府でも戦争の影響により減少した昭和 22 年以来 68 年ぶりに減少となった。それに対し、大阪市では平成 22 年から 1.0%の増加となった。

(表 1-1、図 1-1)

表 1-1 国勢調査人口の推移(昭和 25 年～平成 27 年)

| 年次 | 人 口 (人) | 5 年間の人口増加 | |
|--------|------------|--------------|--------------|
| | | 増 減 数 (人) | 増 減 率 (%) |
| 昭和25年 | 1,956,136 | — | — |
| 30年 | 2,547,316 | 591,180 | 30.2 |
| 35年 | 3,011,563 | 464,247 | 18.2 |
| 40年 | 3,156,222 | 144,659 | 4.8 |
| 45年 | 2,980,487 | △ 175,735 | △ 5.6 |
| 50年 | 2,778,987 | △ 201,500 | △ 6.8 |
| 55年 | 2,648,180 | △ 130,807 | △ 4.7 |
| 60年 | 2,636,249 | △ 11,931 | △ 0.5 |
| 平成 2 年 | 2,623,801 | △ 12,448 | △ 0.5 |
| 7 年 | 2,602,421 | △ 21,380 | △ 0.8 |
| 12年 | 2,598,774 | △ 3,647 | △ 0.1 |
| 17年 | 2,628,811 | 30,037 | 1.2 |
| 22年 | 2,665,314 | 36,503 | 1.4 |
| 27年 | 2,691,185 | 25,871 | 1.0 |

図 1-1 国勢調査人口の推移(昭和 40 年～平成 27 年)



女性の割合高まる

平成 27 年の人口を男女別にみると、男性が 130 万 2562 人、女性が 138 万 8623 人となっており、女性の方が 8 万 6061 人多くなっている。平成 22 年からの増減をみると、男性が 0.7%の増加に対し、女性は 1.2%の増加となっている。男女別割合では、男性が 48.4%に対し、女性が 51.6%となっており、昭和 40 年以降、平成 2 年を除き、女性の割合の上昇が続いている。

人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、昭和 45 年までは 100 を超えていたが、昭和 50 年に 100 を切ってからは低下傾向にあり、平成 27 年は 93.8 となっている。（表 1－2）

表 1－2 男女別人口(昭和 25 年～平成 27 年)

| 年次 | 人口 | | 性比 (女=100) |
|-------|-----------|-----------|---------------|
| | 男 | 女 | |
| 昭和25年 | 975,547 | 980,589 | 99.5 |
| 30年 | 1,281,416 | 1,265,900 | 101.2 |
| 35年 | 1,542,833 | 1,468,730 | 105.0 |
| 40年 | 1,598,376 | 1,557,846 | 102.6 |
| 45年 | 1,490,779 | 1,489,708 | 100.1 |
| 50年 | 1,378,287 | 1,400,700 | 98.4 |
| 55年 | 1,304,599 | 1,343,581 | 97.1 |
| 60年 | 1,295,771 | 1,340,478 | 96.7 |
| 平成2年 | 1,292,747 | 1,331,054 | 97.1 |
| 7年 | 1,278,212 | 1,324,209 | 96.5 |
| 12年 | 1,273,121 | 1,325,653 | 96.0 |
| 17年 | 1,280,325 | 1,348,486 | 94.9 |
| 22年 | 1,293,798 | 1,371,516 | 94.3 |
| 27年 | 1,302,562 | 1,388,623 | 93.8 |

市域中心部の人口増加が顕著

平成 27 年の人口を区別にみると、平野区が 19 万 6633 人と最も多く、次いで淀川区が 17 万 6201 人、東淀川区が 17 万 5530 人、城東区が 16 万 4697 人、住吉区が 15 万 4239 人と続いている。

また、平成 22 年～27 年の人口増加数を区別にみると、中央区が 1 万 4382 人と最も多く、次いで北区が 1 万 3275 人、西区が 9372 人、浪速区が 8021 人、天王寺区が 5954 人などとなっており、市域中心部を中心に 12 区で増加している。

人口増加率をみると、中央区が 18.3%増と最も高く、次いで浪速区が 13.0%増、北区が 12.0%増、西区が 11.3%増、天王寺区が 8.5%増などとなっている。

一方、人口減少数では、西成区が 1 万 89 人と最も多く、次いで東住吉区が 4425 人、大正区が 4369 人などとなっており、12 区で減少している。

人口減少率では、西成区が 8.3%減と最も高く、次いで大正区が 6.3%減、港区が 3.4%減などとなっている。（表 1－3、図 1－2、図 1－3）

表1-3 区别人口(平成22年、平成27年)

| 区名 | 人口(人) | | 22年~27年 | |
|------|-----------|-----------|----------|--------|
| | 平成22年 | 27年 | 増減数(人) | 増減率(%) |
| 大阪市 | 2,665,314 | 2,691,185 | 25,871 | 1.0 |
| 北区 | 110,392 | 123,667 | 13,275 | 12.0 |
| 都島区 | 102,632 | 104,727 | 2,095 | 2.0 |
| 福島区 | 67,290 | 72,484 | 5,194 | 7.7 |
| 此花区 | 65,569 | 66,656 | 1,087 | 1.7 |
| 中央区 | 78,687 | 93,069 | 14,382 | 18.3 |
| 西区 | 83,058 | 92,430 | 9,372 | 11.3 |
| 港区 | 84,947 | 82,035 | △ 2,912 | △ 3.4 |
| 大正区 | 69,510 | 65,141 | △ 4,369 | △ 6.3 |
| 天王寺区 | 69,775 | 75,729 | 5,954 | 8.5 |
| 浪速区 | 61,745 | 69,766 | 8,021 | 13.0 |
| 西淀川区 | 97,504 | 95,490 | △ 2,014 | △ 2.1 |
| 淀川区 | 172,078 | 176,201 | 4,123 | 2.4 |
| 東淀川区 | 176,585 | 175,530 | △ 1,055 | △ 0.6 |
| 東成区 | 80,231 | 80,563 | 332 | 0.4 |
| 生野区 | 134,009 | 130,167 | △ 3,842 | △ 2.9 |
| 旭区 | 92,455 | 91,608 | △ 847 | △ 0.9 |
| 城東区 | 165,832 | 164,697 | △ 1,135 | △ 0.7 |
| 鶴見区 | 111,182 | 111,557 | 375 | 0.3 |
| 阿倍野区 | 106,350 | 107,626 | 1,276 | 1.2 |
| 住之江区 | 127,210 | 122,988 | △ 4,222 | △ 3.3 |
| 住吉区 | 155,572 | 154,239 | △ 1,333 | △ 0.9 |
| 東住吉区 | 130,724 | 126,299 | △ 4,425 | △ 3.4 |
| 平野区 | 200,005 | 196,633 | △ 3,372 | △ 1.7 |
| 西成区 | 121,972 | 111,883 | △ 10,089 | △ 8.3 |

増加上位5区

減少上位5区

| 増加数(人) | | 増加率(%) | |
|--------|--------|--------|------|
| 中央区 | 14,382 | 中央区 | 18.3 |
| 北区 | 13,275 | 浪速区 | 13.0 |
| 西区 | 9,372 | 北区 | 12.0 |
| 浪速区 | 8,021 | 西区 | 11.3 |
| 天王寺区 | 5,954 | 天王寺区 | 8.5 |

| 減少数(人) | | 減少率(%) | |
|--------|----------|--------|-------|
| 西成区 | △ 10,089 | 西成区 | △ 8.3 |
| 東住吉区 | △ 4,425 | 大正区 | △ 6.3 |
| 大正区 | △ 4,369 | 港区 | △ 3.4 |
| 住之江区 | △ 4,222 | 東住吉区 | △ 3.4 |
| 生野区 | △ 3,842 | 住之江区 | △ 3.3 |

図1-2 区別人口(平成27年)

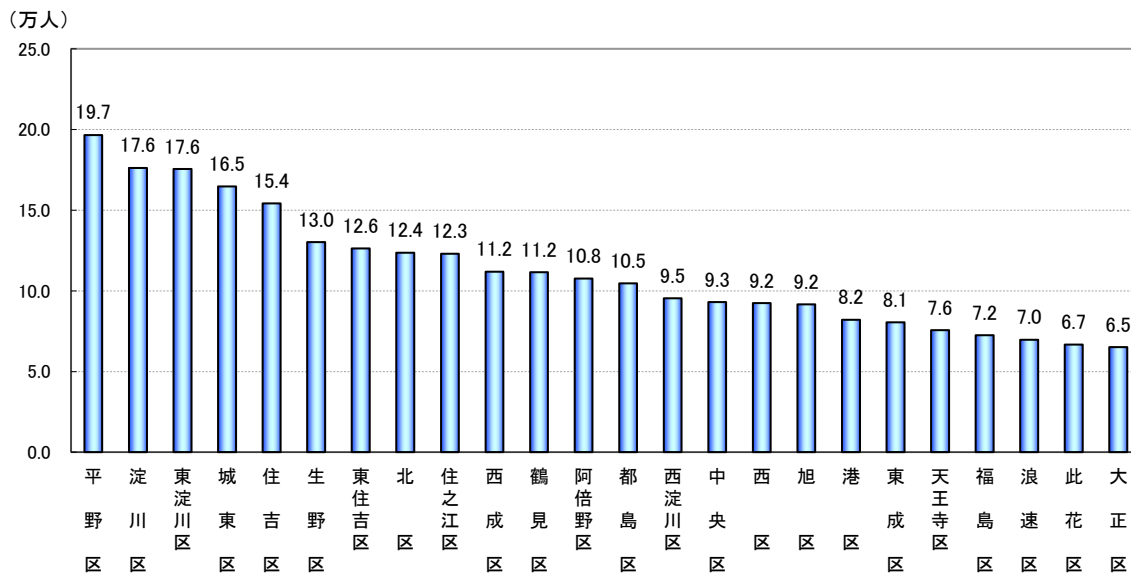
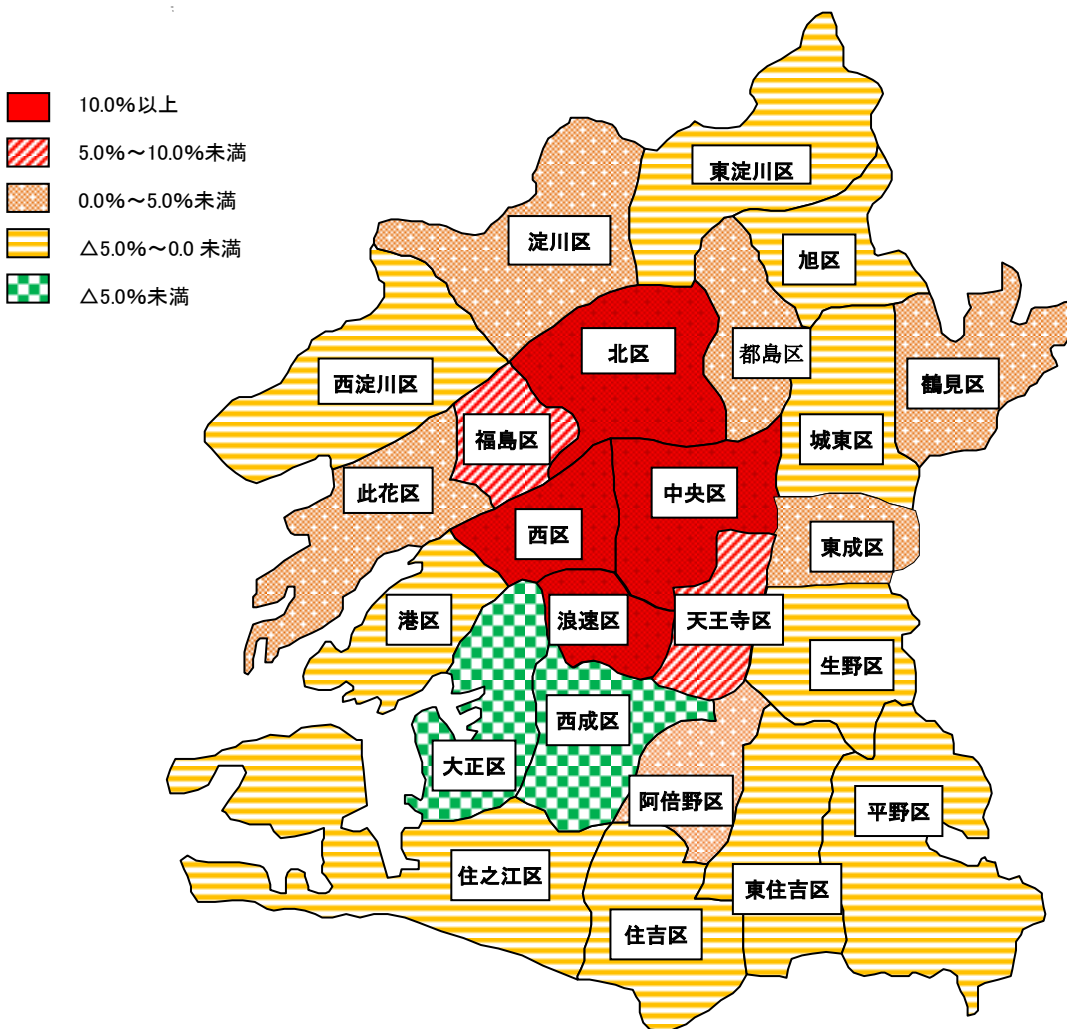


図1-3 区別の人口増減率



2 年齢別人口

生産年齢人口及び年少人口の減少、老年人口の増加が続く。

平成 27 年における大阪市の人口を年齢 3 区分別にみると、15 歳未満人口（年少人口）は 29 万 5298 人（総人口に占める割合 11.2%）、15～64 歳人口（生産年齢人口）は 168 万 2798 人（同 63.6%）、65 歳以上人口（老年人口）は 66 万 8698 人（同 25.3%）となっている。（図 2-1、図 2-2、表 2-1、表 2-2）

65 歳未満人口は減少が続く

年少人口の推移をみると、第 1 次ベビーブーム直後の昭和 25 年の 60 万 9653 人から昭和 35 年まで増加が続き、74 万 9756 人となった。昭和 40 年以後は一貫して減少し、平成 2 年には 39 万 5242 人と 40 万人を下回った。その後も減少が続き、平成 27 年には 29 万 5298 人となっている。

総人口に占める年少人口の割合の推移をみると、昭和 25 年の 31.2%から昭和 45 年の 21.7%まで急速に低下した。その後、昭和 50 年に一時上昇したものの、昭和 55 年以降再び低下に転じ、平成 27 年では 11.2%となっている。

年少人口割合を区別にみると、割合が最も高いのは鶴見区で 15.7%となっている。次いで割合が高いのは天王寺区と西淀川区で、ともに 13.0%となっている。一方、割合が最も低いのは浪速区の 7.0%となっている。（表 2-3、表 2-4）

生産年齢人口の推移をみると、昭和 25 年には 128 万 5845 人であったが、昭和 35 年に 214 万 7051 人と 200 万人を上回り、昭和 40 年には 232 万 434 人となった。その後は減少に転じ、昭和 60 年、平成 2 年にはわずかに増加したが、その期間を除いては減少が続いており、平成 27 年は 168 万 2798 人とピークであった昭和 40 年の 7 割程度となっている。

総人口に占める生産年齢人口の割合の推移をみると、昭和 25 年の 65.7%から昭和 40 年には 73.5%まで上昇した。その後は昭和 60 年、平成 2 年に上昇したのを除き低下が続き、平成 27 年には 63.6%にまで低下している。

生産年齢人口割合を区別にみると、最も割合が高いのは中央区で 74.9%となっている。次いで浪速区が 73.6%、西区が 72.6%となっている。一方、最も生産年齢人口割合が低いのは西成区の 54.1%となっている。（表 2-3、表 2-4）

老年人口の割合は 25.3%

老年人口の推移をみると、昭和 25 年には 6 万 494 人であったが、その後急速に増加し、15 年後の昭和 40 年には 2 倍以上の 14 万 4563 人となった。その後も年々増加し続け、平成 27 年に 66 万 8698 人となり、昭和 25 年に比べると 11 倍以上となっている。

総人口に占める老年人口の割合の推移をみると、昭和 25 年の 3.1%以降一貫して上昇が続き、平成 17 年には 20.4%と 20%を上回り、平成 27 年は 25.3%と 4 人に 1 人が老年人口となっている。

老年人口割合を区別にみると、割合が最も高いのは西成区で、38.7%となっている。次いで高いのは生野区の 31.4%で、大正区が 30.1%と続く。一方、老年人口割合が最も低いのは西区で、16.1%となっている。（表 2-3、表 2-4）

表2-1 年齢3区分別人口の推移(昭和25年～平成27年)

| 年次 | 人 口 (人) | | | | | 割 合 (%) 2) | | | | |
|-------|-----------|---------|-----------|---------|--------------|------------|-------|--------|-------|--------------|
| | 総 数 1) | 0～14歳 | 15～64歳 | 65歳以上 | う ち 75歳以上 | 総 数 | 0～14歳 | 15～64歳 | 65歳以上 | う ち 75歳以上 |
| 昭和25年 | 1,956,136 | 609,653 | 1,285,845 | 60,494 | 12,059 | 100.0 | 31.2 | 65.7 | 3.1 | 0.6 |
| 30 | 2,547,316 | 743,448 | 1,713,544 | 90,289 | 21,241 | 100.0 | 29.2 | 67.3 | 3.5 | 0.8 |
| 35 | 3,011,563 | 749,756 | 2,147,051 | 114,756 | 28,181 | 100.0 | 24.9 | 71.3 | 3.8 | 0.9 |
| 40 | 3,156,222 | 691,225 | 2,320,434 | 144,563 | 35,291 | 100.0 | 21.9 | 73.5 | 4.6 | 1.1 |
| 45 | 2,980,487 | 646,021 | 2,159,116 | 175,350 | 44,055 | 100.0 | 21.7 | 72.4 | 5.9 | 1.5 |
| 50 | 2,778,987 | 615,424 | 1,952,611 | 209,583 | 59,227 | 100.0 | 22.2 | 70.3 | 7.5 | 2.1 |
| 55 | 2,648,180 | 543,395 | 1,858,443 | 243,581 | 77,559 | 100.0 | 20.5 | 70.3 | 9.2 | 2.9 |
| 60 | 2,636,249 | 476,809 | 1,885,539 | 271,339 | 98,349 | 100.0 | 18.1 | 71.6 | 10.3 | 3.7 |
| 平成2年 | 2,623,801 | 395,242 | 1,902,348 | 306,199 | 119,792 | 100.0 | 15.2 | 73.1 | 11.8 | 4.6 |
| 7 | 2,602,421 | 351,859 | 1,878,744 | 365,883 | 138,133 | 100.0 | 13.6 | 72.4 | 14.1 | 5.3 |
| 12 | 2,598,774 | 327,851 | 1,822,803 | 444,740 | 169,276 | 100.0 | 12.6 | 70.2 | 17.1 | 6.5 |
| 17 | 2,628,811 | 315,143 | 1,749,851 | 529,692 | 218,977 | 100.0 | 12.1 | 67.4 | 20.4 | 8.4 |
| 22 | 2,665,314 | 308,093 | 1,734,432 | 598,835 | 270,993 | 100.0 | 11.7 | 65.7 | 22.7 | 10.3 |
| 27 | 2,691,185 | 295,298 | 1,682,798 | 668,698 | 317,893 | 100.0 | 11.2 | 63.6 | 25.3 | 12.0 |

1)総数は年齢「不詳」を含むため内訳とは一致しない。

2)割合は年齢不詳を除いている。

表2-2 年齢3区分別人口増減数の推移(昭和25年～平成27年)

| 年次 | 増 減 数 (人) | | | | | 増 減 率 (%) | | | | |
|-----------|-----------|----------|-----------|--------|--------------|-----------|--------|--------|-------|--------------|
| | 総 数 1) | 0～14歳 | 15～64歳 | 65歳以上 | う ち 75歳以上 | 総 数 1) | 0～14歳 | 15～64歳 | 65歳以上 | う ち 75歳以上 |
| 昭和25年～30年 | 591,180 | 133,795 | 427,699 | 29,795 | 9,182 | 30.2 | 21.9 | 33.3 | 49.3 | 76.1 |
| 30～35 | 464,247 | 6,308 | 433,507 | 24,467 | 6,940 | 18.2 | 0.8 | 25.3 | 27.1 | 32.7 |
| 35～40 | 144,659 | △ 58,531 | 173,383 | 29,807 | 7,110 | 4.8 | △ 7.8 | 8.1 | 26.0 | 25.2 |
| 40～45 | △ 175,735 | △ 45,204 | △ 161,318 | 30,787 | 8,764 | △ 5.6 | △ 6.5 | △ 7.0 | 21.3 | 24.8 |
| 45～50 | △ 201,500 | △ 30,597 | △ 206,505 | 34,233 | 15,172 | △ 6.8 | △ 4.7 | △ 9.6 | 19.5 | 34.4 |
| 50～55 | △ 130,807 | △ 72,029 | △ 94,168 | 33,998 | 18,332 | △ 4.7 | △ 11.7 | △ 4.8 | 16.2 | 31.0 |
| 55～60 | △ 11,931 | △ 66,586 | 27,096 | 27,758 | 20,790 | △ 0.5 | △ 12.3 | 1.5 | 11.4 | 26.8 |
| 60～平成2年 | △ 12,448 | △ 81,567 | 16,809 | 34,860 | 21,443 | △ 0.5 | △ 17.1 | 0.9 | 12.8 | 21.8 |
| 平成2年～7 | △ 21,380 | △ 43,383 | △ 23,604 | 59,684 | 18,341 | △ 0.8 | △ 11.0 | △ 1.2 | 19.5 | 15.3 |
| 7～12 | △ 3,647 | △ 24,008 | △ 55,941 | 78,857 | 31,143 | △ 0.1 | △ 6.8 | △ 3.0 | 21.6 | 22.5 |
| 12～17 | 30,037 | △ 12,708 | △ 72,952 | 84,952 | 49,701 | 1.2 | △ 3.9 | △ 4.0 | 19.1 | 29.4 |
| 17～22 | 36,503 | △ 7,050 | △ 15,419 | 69,143 | 52,016 | 1.4 | △ 2.2 | △ 0.9 | 13.1 | 23.8 |
| 22～27 | 25,871 | △ 12,795 | △ 51,634 | 69,863 | 46,900 | 1.0 | △ 4.2 | △ 3.0 | 11.7 | 17.3 |

1)総数は年齢「不詳」を含むため内訳とは一致しない。

図2-1 年齢3区分別人口割合の推移(昭和25年~平成27年)

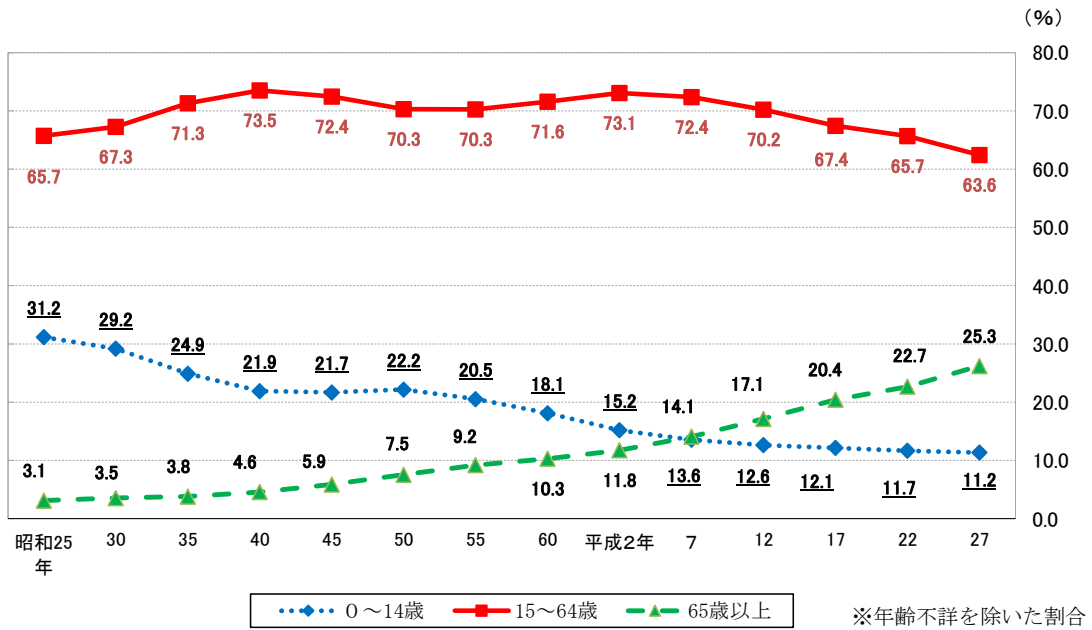


図2-2 人口ピラミッドの推移

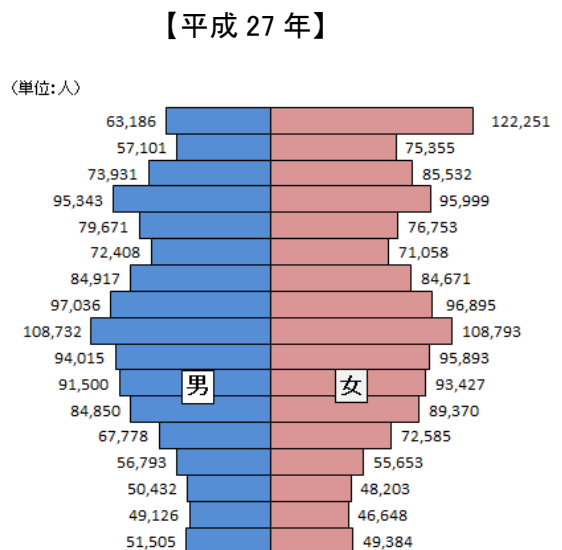
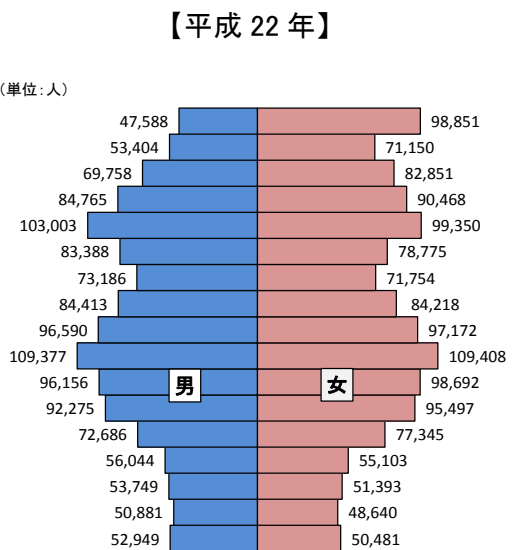
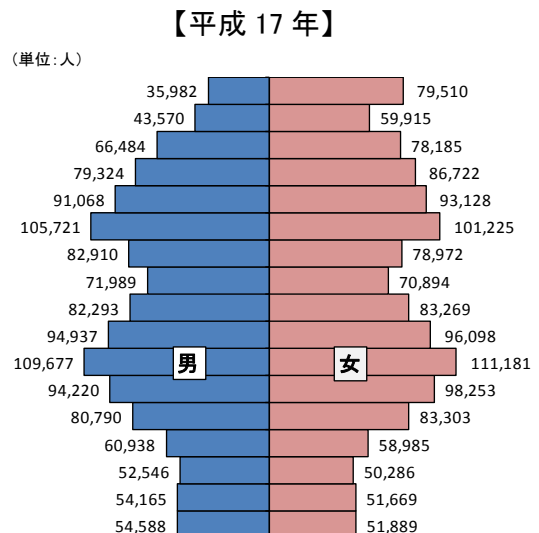
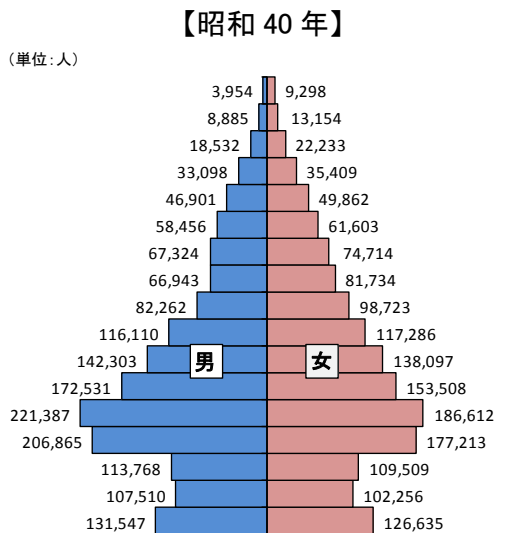


表2-3 年齢3区分別人口(平成22年、平成27年)

(人)

| 区名 | 平成22年 | | | | 平成27年 | | | |
|------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 総数 1) | 0~ 14歳 | 15~ 64歳 | 65歳 以上 | 総数 1) | 0~ 14歳 | 15~ 64歳 | 65歳 以上 |
| 大阪市 | 2,665,314 | 308,093 | 1,734,432 | 598,835 | 2,691,185 | 295,298 | 1,682,798 | 668,698 |
| 北区 | 110,392 | 9,077 | 78,636 | 20,032 | 123,667 | 10,533 | 85,198 | 22,773 |
| 都島区 | 102,632 | 11,617 | 69,011 | 20,718 | 104,727 | 11,901 | 66,489 | 24,281 |
| 福島区 | 67,290 | 7,611 | 46,011 | 12,785 | 72,484 | 8,470 | 48,395 | 14,181 |
| 此花区 | 65,569 | 7,961 | 41,950 | 15,545 | 66,656 | 7,894 | 40,818 | 17,285 |
| 中央区 | 78,687 | 6,129 | 59,337 | 13,215 | 93,069 | 7,952 | 69,656 | 15,371 |
| 西区 | 83,058 | 8,597 | 61,864 | 12,585 | 92,430 | 10,211 | 65,514 | 14,491 |
| 港区 | 84,947 | 9,967 | 54,559 | 19,896 | 82,035 | 8,799 | 49,585 | 21,692 |
| 大正区 | 69,510 | 8,513 | 43,058 | 17,585 | 65,141 | 7,292 | 38,152 | 19,548 |
| 天王寺区 | 69,775 | 8,588 | 46,849 | 12,680 | 75,729 | 9,523 | 49,163 | 14,529 |
| 浪速区 | 61,745 | 3,609 | 43,967 | 11,548 | 69,766 | 4,630 | 48,428 | 12,738 |
| 西淀川区 | 97,504 | 13,488 | 62,777 | 20,685 | 95,490 | 12,339 | 59,469 | 23,332 |
| 淀川区 | 172,078 | 18,256 | 117,819 | 34,061 | 176,201 | 18,139 | 115,840 | 39,965 |
| 東淀川区 | 176,585 | 19,980 | 118,866 | 35,775 | 175,530 | 18,256 | 112,436 | 41,124 |
| 東成区 | 80,231 | 9,078 | 51,820 | 18,577 | 80,563 | 8,783 | 49,930 | 20,316 |
| 生野区 | 134,009 | 14,205 | 82,742 | 36,102 | 130,167 | 11,982 | 76,786 | 40,621 |
| 旭区 | 92,455 | 10,378 | 57,478 | 24,263 | 91,608 | 9,519 | 54,894 | 26,834 |
| 城東区 | 165,832 | 21,903 | 106,951 | 36,210 | 164,697 | 20,420 | 101,894 | 41,082 |
| 鶴見区 | 111,182 | 18,308 | 70,672 | 21,539 | 111,557 | 17,298 | 69,038 | 24,082 |
| 阿倍野区 | 106,350 | 12,864 | 67,213 | 25,630 | 107,626 | 13,312 | 65,949 | 27,171 |
| 住之江区 | 127,210 | 15,445 | 82,120 | 28,911 | 122,988 | 13,479 | 73,428 | 34,487 |
| 住吉区 | 155,572 | 19,112 | 98,097 | 37,393 | 154,239 | 18,277 | 93,184 | 41,553 |
| 東住吉区 | 130,724 | 15,842 | 80,731 | 33,635 | 126,299 | 14,352 | 74,568 | 36,601 |
| 平野区 | 200,005 | 28,494 | 122,469 | 48,180 | 196,633 | 24,207 | 116,351 | 53,454 |
| 西成区 | 121,972 | 9,071 | 69,435 | 41,285 | 111,883 | 7,730 | 57,633 | 41,187 |

1)総数は年齢「不詳」を含むため、内訳とは一致しない。

表2-4 年齢3区分別人口の割合(平成22年、平成27年)

(%)

| 区名 | 平成22年 | | | | 平成27年 | | | |
|------|-------|-----------|------------|-----------|-------|-----------|------------|-----------|
| | 総数 | 0～ 14歳 | 15～ 64歳 | 65歳 以上 | 総数 | 0～ 14歳 | 15～ 64歳 | 65歳 以上 |
| 大阪市 | 100.0 | 11.7 | 65.7 | 22.7 | 100.0 | 11.2 | 63.6 | 25.3 |
| 北区 | 100.0 | 8.4 | 73.0 | 18.6 | 100.0 | 8.9 | 71.9 | 19.2 |
| 都島区 | 100.0 | 11.5 | 68.1 | 20.4 | 100.0 | 11.6 | 64.8 | 23.6 |
| 福島区 | 100.0 | 11.5 | 69.3 | 19.3 | 100.0 | 11.9 | 68.1 | 20.0 |
| 此花区 | 100.0 | 12.2 | 64.1 | 23.7 | 100.0 | 12.0 | 61.8 | 26.2 |
| 中央区 | 100.0 | 7.8 | 75.4 | 16.8 | 100.0 | 8.6 | 74.9 | 16.5 |
| 西区 | 100.0 | 10.4 | 74.5 | 15.2 | 100.0 | 11.3 | 72.6 | 16.1 |
| 港区 | 100.0 | 11.8 | 64.6 | 23.6 | 100.0 | 11.0 | 61.9 | 27.1 |
| 大正区 | 100.0 | 12.3 | 62.3 | 25.4 | 100.0 | 11.2 | 58.7 | 30.1 |
| 天王寺区 | 100.0 | 12.6 | 68.8 | 18.6 | 100.0 | 13.0 | 67.1 | 19.8 |
| 浪速区 | 100.0 | 6.1 | 74.4 | 19.5 | 100.0 | 7.0 | 73.6 | 19.4 |
| 西淀川区 | 100.0 | 13.9 | 64.8 | 21.3 | 100.0 | 13.0 | 62.5 | 24.5 |
| 淀川区 | 100.0 | 10.7 | 69.2 | 20.0 | 100.0 | 10.4 | 66.6 | 23.0 |
| 東淀川区 | 100.0 | 11.4 | 68.1 | 20.5 | 100.0 | 10.6 | 65.4 | 23.9 |
| 東成区 | 100.0 | 11.4 | 65.2 | 23.4 | 100.0 | 11.1 | 63.2 | 25.7 |
| 生野区 | 100.0 | 10.7 | 62.2 | 27.1 | 100.0 | 9.3 | 59.3 | 31.4 |
| 旭区 | 100.0 | 11.3 | 62.4 | 26.3 | 100.0 | 10.4 | 60.2 | 29.4 |
| 城東区 | 100.0 | 13.3 | 64.8 | 21.9 | 100.0 | 12.5 | 62.4 | 25.1 |
| 鶴見区 | 100.0 | 16.6 | 63.9 | 19.5 | 100.0 | 15.7 | 62.5 | 21.8 |
| 阿倍野区 | 100.0 | 12.2 | 63.6 | 24.2 | 100.0 | 12.5 | 62.0 | 25.5 |
| 住之江区 | 100.0 | 12.2 | 64.9 | 22.9 | 100.0 | 11.1 | 60.5 | 28.4 |
| 住吉区 | 100.0 | 12.4 | 63.5 | 24.2 | 100.0 | 11.9 | 60.9 | 27.2 |
| 東住吉区 | 100.0 | 12.2 | 62.0 | 25.8 | 100.0 | 11.4 | 59.4 | 29.2 |
| 平野区 | 100.0 | 14.3 | 61.5 | 24.2 | 100.0 | 12.5 | 60.0 | 27.6 |
| 西成区 | 100.0 | 7.6 | 58.0 | 34.5 | 100.0 | 7.3 | 54.1 | 38.7 |

※年齢不詳を除いた割合

3 配偶関係

男女ともに未婚率は低下

平成 27 年の 15 歳以上の配偶関係を男女別にみると、男性の 15 歳以上人口（112 万 7261 人）のうち、未婚者は 35 万 6199 人（未婚率 35.6%）、有配偶者は 56 万 2012 人（有配偶率 56.1%）、死別者は 2 万 9329 人（死別率 2.9%）、離別者は 5 万 4382 人（離別率 5.4%）となっている。

一方、女性の 15 歳以上人口（122 万 4235 人）のうち、未婚者は 33 万 1949 人（未婚率 29.3%）、有配偶者は 56 万 6899 人（有配偶率 50.1%）、死別者は 14 万 4996 人（死別率 12.8%）、離別者は 8 万 7360 人（離別率 7.7%）となっている。平成 22 年と比べると、男女ともに未婚率は低下、有配偶率は上昇、死別率及び離別率は低下している。

15 歳以上人口に占める配偶関係別割合の推移をみると、未婚率は、男女とも昭和 55 年まで低下、その後男性は平成 12 年を除き平成 22 年まで上昇、女性はその後平成 22 年まで上昇し続けていたが、平成 27 年には男女ともに低下した。有配偶率は、未婚率とは対照的に、男性は昭和 55 年まで、女性は 50 年まで上昇し、その後低下に転じていたが、平成 27 年は男女ともに上昇している。死別率は、男性は昭和 50 年以降ほぼ横ばいとなっていたが、平成 7 年に上昇し、平成 22 年に低下に転じている。また、女性は平成 2 年を除いて上昇傾向であったが、平成 22 年からは低下している。離別率は、男女とも昭和 40 年以降一貫して上昇傾向にあったが、平成 27 年に低下に転じた。（表 3-1、表 3-2）

表3-1 配偶関係、男女別 15 歳以上人口の推移(昭和 40 年～平成 27 年)

| 男女、年次 | 配 偶 関 係 別 人 口 (人) | | | | |
|-------|-------------------|---------|---------|---------|--------|
| | 総 数 1) | 未 婚 | 有配偶 | 死 別 | 離 別 |
| 男 | | | | | |
| 昭和40年 | 1,245,551 | 538,588 | 664,154 | 28,076 | 14,270 |
| 45 | 1,160,241 | 456,098 | 656,504 | 27,862 | 19,312 |
| 50 | 1,061,944 | 367,428 | 642,508 | 29,288 | 21,864 |
| 55 | 1,024,491 | 342,893 | 622,627 | 28,666 | 26,877 |
| 60 | 1,050,045 | 362,986 | 620,564 | 29,036 | 34,065 |
| 平成2年 | 1,077,742 | 384,999 | 609,710 | 29,304 | 40,054 |
| 7 | 1,094,382 | 399,355 | 605,534 | 31,341 | 44,996 |
| 12 | 1,102,705 | 397,238 | 593,319 | 33,754 | 52,433 |
| 17 | 1,099,903 | 394,611 | 572,771 | 34,538 | 57,978 |
| 22 | 1,122,633 | 394,922 | 565,506 | 32,232 | 63,414 |
| 27 | 1,127,261 | 356,199 | 562,012 | 29,329 | 54,382 |
| 女 | | | | | |
| 昭和40年 | 1,219,446 | 385,376 | 658,363 | 141,531 | 33,672 |
| 45 | 1,174,225 | 344,283 | 650,754 | 141,931 | 37,087 |
| 50 | 1,100,250 | 282,966 | 640,371 | 140,455 | 35,828 |
| 55 | 1,077,533 | 272,088 | 621,825 | 139,055 | 40,662 |
| 60 | 1,106,833 | 289,252 | 617,756 | 146,604 | 50,721 |
| 平成2年 | 1,130,805 | 313,801 | 605,747 | 143,591 | 55,905 |
| 7 | 1,150,245 | 326,429 | 599,585 | 151,191 | 63,882 |
| 12 | 1,164,838 | 332,325 | 586,408 | 153,403 | 75,329 |
| 17 | 1,179,640 | 336,520 | 568,275 | 158,342 | 88,724 |
| 22 | 1,210,634 | 345,109 | 560,007 | 152,261 | 91,257 |
| 27 | 1,224,235 | 331,949 | 566,899 | 144,996 | 87,360 |

1) 配偶関係「不詳」を含む。

表3-2 配偶関係、男女別 15 歳以上人口の割合の推移(昭和 40 年～平成 27 年)

| 男女、年次 | 配偶関係別割合 (%) | | | |
|-------|-------------|------|------|-----|
| | 未婚 | 有配偶 | 死別 | 離別 |
| 男 | | | | |
| 昭和40年 | 43.3 | 53.3 | 2.3 | 1.1 |
| 45 | 39.3 | 56.6 | 2.4 | 1.7 |
| 50 | 34.6 | 60.6 | 2.8 | 2.1 |
| 55 | 33.6 | 61.0 | 2.8 | 2.6 |
| 60 | 34.7 | 59.3 | 2.8 | 3.3 |
| 平成2年 | 36.2 | 57.3 | 2.8 | 3.8 |
| 7 | 36.9 | 56.0 | 2.9 | 4.2 |
| 12 | 36.9 | 55.1 | 3.1 | 4.9 |
| 17 | 37.2 | 54.0 | 3.3 | 5.5 |
| 22 | 37.4 | 53.5 | 3.1 | 6.0 |
| 27 | 35.6 | 56.1 | 2.9 | 5.4 |
| 女 | | | | |
| 昭和40年 | 31.6 | 54.0 | 11.6 | 2.8 |
| 45 | 29.3 | 55.4 | 12.1 | 3.2 |
| 50 | 25.7 | 58.2 | 12.8 | 3.3 |
| 55 | 25.3 | 57.9 | 13.0 | 3.8 |
| 60 | 26.2 | 55.9 | 13.3 | 4.6 |
| 平成2年 | 28.0 | 54.1 | 12.8 | 5.0 |
| 7 | 28.6 | 52.5 | 13.2 | 5.6 |
| 12 | 29.0 | 51.1 | 13.4 | 6.6 |
| 17 | 29.2 | 49.3 | 13.7 | 7.7 |
| 22 | 30.0 | 48.8 | 13.3 | 7.9 |
| 27 | 29.3 | 50.1 | 12.8 | 7.7 |

注) 割合は配偶関係「不詳」を除く。

有配偶率が男女ともに上昇傾向

未婚率を年齢階級別に平成 22 年と比べると、男性は 15～19 歳、25～44 歳、55～59 歳で低下している。女性は 39 歳以下で低下している。

有配偶率は男性の 20～24 歳、65～74 歳を除き、上昇している。女性は 45～59 歳を除き上昇している。

死別率は男女ともに低下している。また、離別率をみると、男性は 65～69 歳の 10.5%、女性が 50～59 歳の 13.8% が最も高くなっており、平成 22 年と比べると、男性は 75 歳以上を除き低下。女性は 54 歳以下で低下しており、55 歳以上は上昇している。(表 3-3、図 3-1)

図 3-1 25～39 歳における男女別未婚率の推移(昭和 60 年～平成 27 年)

【男】

【女】

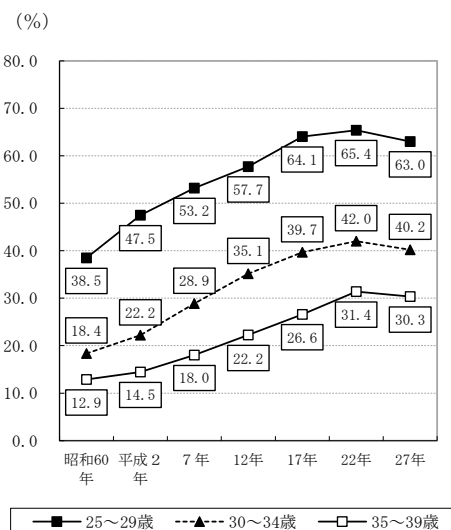
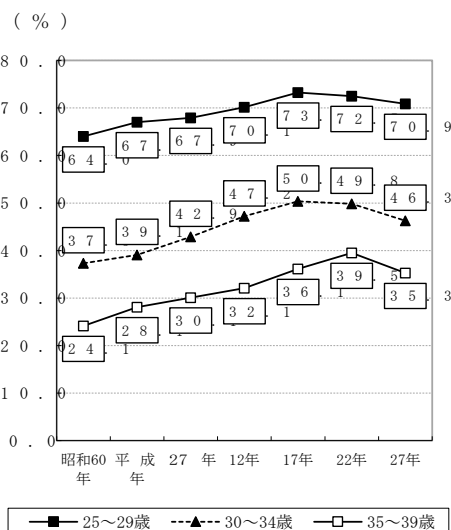


表3-3 配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別 15歳以上人口の割合の推移(平成12年~27年)

(%)

| 男女、 年 齢 | 未 婚 | | | | 有 配 偶 | | | | 死 別 | | | | 離 別 | | | |
|------------|-----------|------|------|-------------|-----------|------|------|-------------|-----------|------|------|-------------|-----------|------|------|-------------|
| | 平成 12年 | 17年 | 22年 | 27年 | 平成 12年 | 17年 | 22年 | 27年 | 平成 12年 | 17年 | 22年 | 27年 | 平成 12年 | 17年 | 22年 | 27年 |
| 男 | 36.9 | 37.2 | 37.4 | 35.6 | 55.1 | 54.0 | 53.5 | 56.1 | 3.1 | 3.3 | 3.1 | 2.9 | 4.9 | 5.5 | 6.0 | 5.4 |
| 15~19歳 | 99.3 | 99.5 | 99.5 | 99.3 | 0.6 | 0.5 | 0.5 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20~24 | 92.8 | 93.7 | 93.0 | 93.2 | 6.9 | 6.0 | 6.7 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.2 |
| 25~29 | 70.1 | 73.2 | 72.5 | 70.9 | 28.9 | 25.8 | 26.5 | 28.4 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 0.9 | 0.7 |
| 30~34 | 47.2 | 50.3 | 49.8 | 46.3 | 50.4 | 47.3 | 48.2 | 52.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 2.3 | 2.3 | 1.9 | 1.6 |
| 35~39 | 32.1 | 36.1 | 39.5 | 35.3 | 63.7 | 59.5 | 56.7 | 62.0 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 4.0 | 4.2 | 3.6 | 2.6 |
| 40~44 | 25.5 | 29.0 | 33.8 | 32.1 | 68.6 | 64.6 | 60.2 | 63.5 | 0.5 | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 5.5 | 6.0 | 5.7 | 4.3 |
| 45~49 | 23.1 | 24.5 | 28.6 | 29.0 | 68.6 | 67.4 | 63.4 | 64.5 | 1.0 | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 7.3 | 7.5 | 7.6 | 6.1 |
| 50~54 | 18.7 | 22.9 | 24.7 | 25.2 | 70.9 | 66.9 | 65.4 | 66.1 | 1.6 | 1.3 | 0.9 | 0.7 | 8.7 | 8.8 | 9.0 | 8.0 |
| 55~59 | 12.6 | 19.1 | 23.9 | 21.7 | 75.0 | 68.7 | 64.2 | 67.8 | 3.1 | 2.2 | 1.7 | 1.3 | 9.3 | 9.9 | 10.2 | 9.2 |
| 60~64 | 8.9 | 13.1 | 20.2 | 21.1 | 77.3 | 72.4 | 65.5 | 66.3 | 4.9 | 4.3 | 3.0 | 2.4 | 8.9 | 10.2 | 11.3 | 10.2 |
| 65~69 | 6.4 | 9.8 | 13.8 | 17.6 | 78.2 | 74.0 | 69.8 | 67.9 | 7.5 | 6.6 | 5.3 | 3.9 | 7.8 | 9.5 | 11.1 | 10.5 |
| 70~74 | 4.5 | 6.5 | 9.5 | 11.7 | 78.3 | 75.7 | 72.7 | 72.6 | 11.2 | 10.3 | 8.1 | 6.6 | 6.0 | 7.5 | 9.8 | 9.1 |
| 75歳以上 | 2.2 | 3.6 | 5.1 | 6.2 | 72.5 | 72.2 | 71.8 | 72.3 | 21.8 | 20.0 | 17.6 | 15.9 | 3.4 | 4.2 | 5.5 | 5.7 |
| 女 | 29.0 | 29.2 | 30.0 | 29.3 | 51.1 | 49.3 | 48.8 | 50.1 | 13.4 | 13.7 | 13.3 | 12.8 | 6.6 | 7.7 | 7.9 | 7.7 |
| 15~19歳 | 98.8 | 98.9 | 99.0 | 98.8 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 20~24 | 88.4 | 89.9 | 89.4 | 89.3 | 10.8 | 9.2 | 9.8 | 10.2 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.8 | 0.9 | 0.7 | 0.4 |
| 25~29 | 57.7 | 64.1 | 65.4 | 63.0 | 39.6 | 33.4 | 32.7 | 35.4 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 2.6 | 2.5 | 1.9 | 1.5 |
| 30~34 | 35.1 | 39.7 | 42.0 | 40.2 | 59.4 | 54.7 | 54.0 | 56.7 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 5.2 | 5.4 | 3.8 | 3.0 |
| 35~39 | 22.2 | 26.6 | 31.4 | 30.3 | 68.7 | 63.5 | 61.3 | 64.3 | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.2 | 8.4 | 9.4 | 6.9 | 5.1 |
| 40~44 | 15.9 | 20.1 | 26.3 | 26.4 | 72.6 | 66.4 | 62.4 | 65.0 | 1.4 | 1.2 | 0.8 | 0.5 | 10.2 | 12.4 | 10.5 | 8.1 |
| 45~49 | 12.4 | 15.1 | 21.0 | 23.8 | 73.8 | 69.5 | 63.9 | 63.7 | 2.6 | 2.3 | 1.7 | 1.2 | 11.1 | 13.1 | 13.4 | 11.4 |
| 50~54 | 10.5 | 12.2 | 16.1 | 19.6 | 73.2 | 70.7 | 66.5 | 64.0 | 4.8 | 4.2 | 3.3 | 2.5 | 11.4 | 13.0 | 14.0 | 13.8 |
| 55~59 | 8.1 | 10.3 | 12.9 | 15.1 | 72.3 | 69.4 | 67.2 | 66.4 | 9.3 | 7.4 | 6.2 | 4.6 | 10.3 | 12.9 | 13.7 | 13.8 |
| 60~64 | 6.7 | 8.0 | 10.9 | 12.1 | 68.1 | 67.5 | 65.4 | 66.2 | 16.6 | 13.7 | 10.6 | 8.6 | 8.5 | 10.8 | 13.1 | 13.1 |
| 65~69 | 7.0 | 6.9 | 8.6 | 10.6 | 59.7 | 61.6 | 62.0 | 62.6 | 26.1 | 22.9 | 18.5 | 14.4 | 7.2 | 8.7 | 11.0 | 12.4 |
| 70~74 | 7.3 | 7.1 | 7.3 | 8.6 | 47.4 | 51.2 | 54.0 | 56.9 | 38.6 | 34.7 | 30.2 | 24.6 | 6.7 | 7.0 | 8.6 | 10.0 |
| 75歳以上 | 4.0 | 5.6 | 7.0 | 7.6 | 21.5 | 24.7 | 28.8 | 31.9 | 70.1 | 64.5 | 58.5 | 54.5 | 4.4 | 5.2 | 5.7 | 6.1 |

※ 未婚率：15歳以上人口に占める未婚者の割合（未婚者とは、まだ結婚したことのない人をいう。）

※ 有配偶率：15歳以上人口に占める有配偶者の割合（有配偶者とは、届出の有無に関係なく、妻または夫のある人をいう。）

※ 未婚率、有配偶率、死別率、離別率は、総数から配偶関係「不詳」を除いて算出。

4 世帯の状況

一般世帯の1世帯当たり人員は1.96。

平成27年における一般世帯数は135万2413世帯、一般世帯人員は264万9619人で、1世帯当たり人員は1.96人となっている。

昭和60年以降の推移をみると、一般世帯数は一貫して増加が続いており、平成27年においても平成22年と比べて3.1%の増加となっている。一般世帯人員は減少が続いたが、平成22年に増加に転じ、平成27年では2万2842人(0.9%)の増加となっている。1世帯当たり人員は平成22年の2.00人から平成27年には1.96人とさらに減少した。

一般世帯数の増減率を世帯人員別にみると、平成22年～27年では1人世帯が5.7%増加したのをはじめ、2人世帯が4.7%増と世帯人員が2人以下の世帯が増加しているのに対し、3人以上の世帯はいずれも減少している。

一般世帯の世帯人員別の割合をみると、1人世帯が48.6%と最も高く、次いで2人世帯が24.7%で、これらの世帯が一般世帯数の約7割を占めている。以下、3人世帯が13.5%、4人世帯が9.5%などとなっている。(表4-1、表4-2、図4-1)

表4-1 一般世帯数、一般世帯人員及び施設等の世帯人員の推移(昭和60年～平成27年)

| 年次 | | 一般世帯 | | | 施設等の世帯 |
|------------|------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|
| | | 世帯数 (世帯) | 世帯人員 (人) | 1世帯当たり 人員(人) | 世帯人員 (人) |
| 世帯数、 人数 | 昭和60年 | 961,116 | 2,600,479 | 2.71 | 33,208 |
| | 平成2年 | 1,014,881 | 2,565,454 | 2.53 | 38,336 |
| | 7 | 1,084,456 | 2,560,076 | 2.36 | 36,410 |
| | 12 | 1,149,047 | 2,553,178 | 2.22 | 42,216 |
| | 17 | 1,203,312 | 2,552,621 | 2.12 | 42,065 |
| | 22 | 1,311,523 | 2,626,777 | 2.00 | 38,537 |
| | 27 | 1,352,413 | 2,649,619 | 1.96 | 41,566 |
| 増減数 (人) | 昭和60年～平成2年 | 53,765 | △35,025 | △0.18 | 5,128 |
| | 平成2年～7 | 69,575 | △5,378 | △0.17 | △1,926 |
| | 7～12 | 64,591 | △6,898 | △0.14 | 5,806 |
| | 12～17 | 54,265 | △557 | △0.10 | △151 |
| | 17～22 | 108,211 | 74,156 | △0.12 | △3,528 |
| | 22～27 | 40,890 | 22,842 | △0.04 | 3,029 |
| 増減率 (%) | 昭和60年～平成2年 | 5.6 | △1.3 | △6.64 | 15.4 |
| | 平成2年～7 | 6.9 | △0.2 | △6.69 | △5.0 |
| | 7～12 | 6.0 | △0.3 | △5.88 | 15.9 |
| | 12～17 | 4.7 | △0.0 | △4.53 | △0.4 |
| | 17～22 | 9.0 | 2.9 | △5.59 | △8.4 |
| | 22～27 | 3.1 | 0.9 | △2.18 | 7.9 |

※一般世帯…

- ①住居と生計を共にしている人々の集まり又は1戸を構えて住んでいる単身者
- ②上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借り人の単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

施設等の世帯…

寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など

図4-1 一般世帯数及び1世帯当たり人員の推移

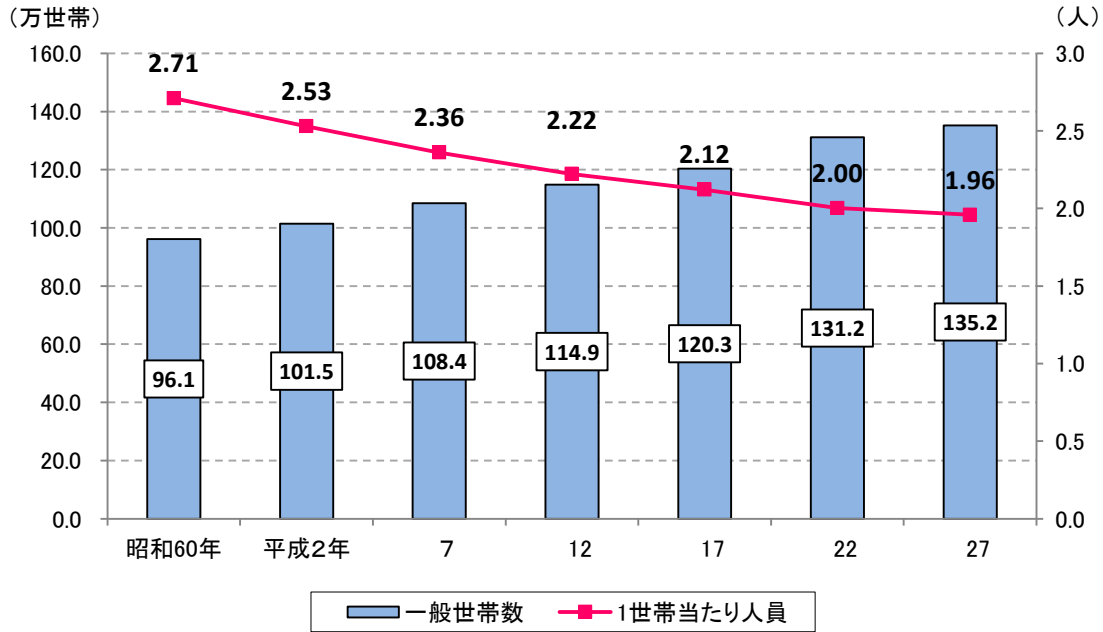


表4-2 世帯人員別一般世帯数の推移(昭和60年~平成27年)

| 年次 | | 総数 | 世帯人員別 | | | | | | |
|---------|------------|-----------|---------|---------|---------|----------|----------|---------|---------|
| | | | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人 | 7人以上 |
| 世帯数 | 昭和60年 | 961,116 | 274,027 | 206,978 | 168,167 | 197,300 | 82,236 | 23,140 | 9,268 |
| | 平成2年 | 1,014,881 | 328,451 | 233,434 | 172,681 | 186,531 | 66,584 | 19,908 | 7,292 |
| | 7 | 1,084,456 | 392,072 | 266,048 | 178,800 | 167,743 | 57,831 | 16,212 | 5,750 |
| | 12 | 1,149,047 | 454,817 | 293,121 | 181,896 | 153,001 | 48,710 | 13,058 | 4,444 |
| | 17 | 1,203,312 | 513,232 | 307,897 | 182,314 | 142,165 | 43,061 | 10,943 | 3,700 |
| | 22 | 1,311,523 | 622,010 | 319,563 | 183,321 | 134,303 | 39,772 | 9,410 | 3,144 |
| | 27 | 1,352,413 | 657,205 | 334,625 | 183,040 | 128,571 | 37,849 | 8,345 | 2,778 |
| 増減数(世帯) | 昭和60年~平成2年 | 53,765 | 54,424 | 26,456 | 4,514 | △ 10,769 | △ 15,652 | △ 3,232 | △ 1,976 |
| | 平成2年~7 | 69,575 | 63,621 | 32,614 | 6,119 | △ 18,788 | △ 8,753 | △ 3,696 | △ 1,542 |
| | 7~12 | 64,591 | 62,745 | 27,073 | 3,096 | △ 14,742 | △ 9,121 | △ 3,154 | △ 1,306 |
| | 12~17 | 54,265 | 58,415 | 14,776 | 418 | △ 10,836 | △ 5,649 | △ 2,115 | △ 744 |
| | 17~22 | 108,211 | 108,778 | 11,666 | 1,007 | △ 7,862 | △ 3,289 | △ 1,533 | △ 556 |
| | 22~27 | 40,890 | 35,195 | 15,062 | △ 281 | △ 5,732 | △ 1,923 | △ 1,065 | △ 366 |
| 増減率(%) | 昭和60年~平成2年 | 5.6 | 19.9 | 12.8 | 2.7 | △ 5.5 | △ 19.0 | △ 14.0 | △ 21.3 |
| | 平成2年~7 | 6.9 | 19.4 | 14.0 | 3.5 | △ 10.1 | △ 13.1 | △ 18.6 | △ 21.1 |
| | 7~12 | 6.0 | 16.0 | 10.2 | 1.7 | △ 8.8 | △ 15.8 | △ 19.5 | △ 22.7 |
| | 12~17 | 4.7 | 12.8 | 5.0 | 0.2 | △ 7.1 | △ 11.6 | △ 16.2 | △ 16.7 |
| | 17~22 | 9.0 | 21.2 | 3.8 | 0.6 | △ 5.5 | △ 7.6 | △ 14.0 | △ 15.0 |
| | 22~27 | 3.1 | 5.7 | 4.7 | △ 0.2 | △ 4.3 | △ 4.8 | △ 11.3 | △ 11.6 |
| 割合(%) | 昭和60年 | 100.0 | 28.5 | 21.5 | 17.5 | 20.5 | 8.6 | 2.4 | 1.0 |
| | 平成2年 | 100.0 | 32.4 | 23.0 | 17.0 | 18.4 | 6.6 | 2.0 | 0.7 |
| | 7 | 100.0 | 36.2 | 24.5 | 16.5 | 15.5 | 5.3 | 1.5 | 0.5 |
| | 12 | 100.0 | 39.6 | 25.5 | 15.8 | 13.3 | 4.2 | 1.1 | 0.4 |
| | 17 | 100.0 | 42.7 | 25.6 | 15.2 | 11.8 | 3.6 | 0.9 | 0.3 |
| | 22 | 100.0 | 47.4 | 24.4 | 14.0 | 10.2 | 3.0 | 0.7 | 0.2 |
| | 27 | 100.0 | 48.6 | 24.7 | 13.5 | 9.5 | 2.8 | 0.6 | 0.2 |

一般世帯の1世帯当たり人員は20区で減少

一般世帯数を区別にみると、淀川区が9万4400世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万2435世帯、平野区が8万8854世帯、城東区が7万6379世帯、北区が7万4053世帯と続いている。一般世帯数の最も少ない区は大正区の2万9172世帯である。

また、平成22年～27年の一般世帯数の増加率を区別にみると、中央区の20.4%が最も高く、次いで北区が13.9%、浪速区が12.2%、西区が10.7%、天王寺区が9.6%となっており、市域中心部での増加が顕著になっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.39人と最も多く、次いで西淀川区が2.20人、大正区が2.19人、平野区が2.18人、此花区が2.15人となっている。

一方、最も少ない区は浪速区の1.45人であり、次いで中央区が1.57人、西成区が1.58人、北区が1.65人、西区が1.76人となっている。

平成22年と比べると、1世帯当たり人員は西区、浪速区、阿倍野区、住吉区は増加しているが、その他の20区では減少している。(表3-3、図3-2、図3-3)

表4-3 一般世帯数及び1世帯当たり人員（平成22年、平成27年）

| 区名 | 一般世帯数(世帯) | | 平成22年～27年の増加 | | 1世帯当たり人員(人) | |
|------|-----------|-----------|--------------|------------|-------------|------|
| | 平成22年 | 27年 | 増減数 (世帯) | 増減率 (%) | 平成22年 | 27年 |
| 大阪市 | 1,311,523 | 1,352,413 | 40,890 | 3.1 | 2.00 | 1.96 |
| 北区 | 65,040 | 74,053 | 9,013 | 13.9 | 1.67 | 1.65 |
| 都島区 | 50,044 | 51,505 | 1,461 | 2.9 | 2.01 | 2.00 |
| 福島区 | 34,361 | 37,485 | 3,124 | 9.1 | 1.94 | 1.92 |
| 此花区 | 29,482 | 30,685 | 1,203 | 4.1 | 2.21 | 2.15 |
| 中央区 | 49,003 | 59,023 | 10,020 | 20.4 | 1.60 | 1.57 |
| 西区 | 47,056 | 52,106 | 5,050 | 10.7 | 1.75 | 1.76 |
| 港区 | 40,699 | 40,323 | △ 376 | △ 0.9 | 2.06 | 2.00 |
| 大正区 | 30,503 | 29,172 | △ 1,331 | △ 4.4 | 2.24 | 2.19 |
| 天王寺区 | 34,676 | 38,014 | 3,338 | 9.6 | 1.98 | 1.96 |
| 浪速区 | 42,300 | 47,440 | 5,140 | 12.2 | 1.44 | 1.45 |
| 西淀川区 | 43,580 | 42,889 | △ 691 | △ 1.6 | 2.22 | 2.20 |
| 淀川区 | 91,056 | 94,400 | 3,344 | 3.7 | 1.87 | 1.85 |
| 東淀川区 | 91,862 | 92,435 | 573 | 0.6 | 1.91 | 1.87 |
| 東成区 | 38,901 | 39,637 | 736 | 1.9 | 2.04 | 2.00 |
| 生野区 | 62,746 | 63,532 | 786 | 1.3 | 2.10 | 2.00 |
| 旭区 | 43,804 | 43,664 | △ 140 | △ 0.3 | 2.08 | 2.07 |
| 城東区 | 76,012 | 76,379 | 367 | 0.5 | 2.16 | 2.13 |
| 鶴見区 | 45,233 | 46,325 | 1,092 | 2.4 | 2.44 | 2.39 |
| 阿倍野区 | 49,287 | 50,055 | 768 | 1.6 | 2.12 | 2.12 |
| 住之江区 | 56,547 | 56,868 | 321 | 0.6 | 2.22 | 2.13 |
| 住吉区 | 73,869 | 71,658 | △ 2,211 | △ 3.0 | 2.07 | 2.11 |
| 東住吉区 | 60,003 | 57,681 | △ 2,322 | △ 3.9 | 2.15 | 2.14 |
| 平野区 | 86,449 | 88,854 | 2,405 | 2.8 | 2.29 | 2.18 |
| 西成区 | 69,010 | 68,230 | △ 780 | △ 1.1 | 1.65 | 1.58 |

図4-2 区別の一般世帯数

(万世帯)

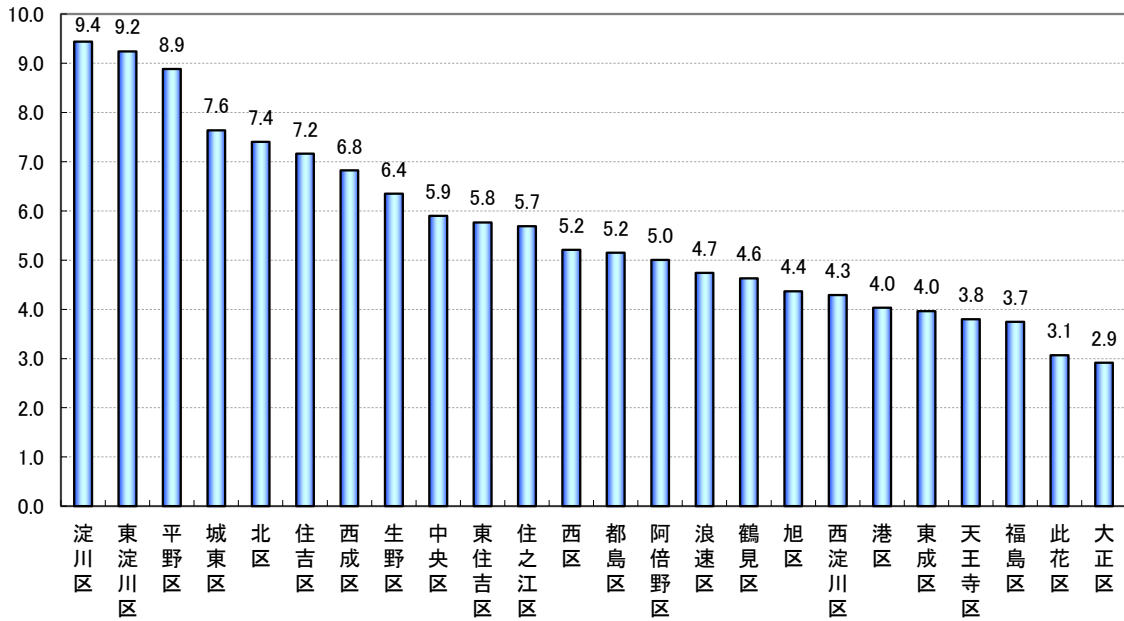
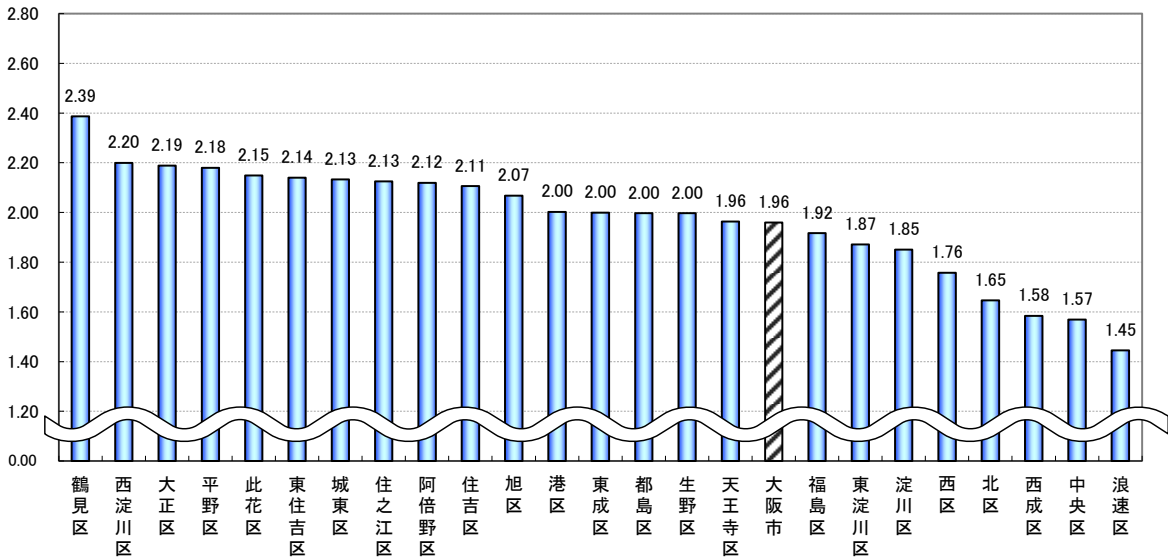


図4-3 区別の1世帯当たり人員

(人)



単独世帯の割合は48.7%とさらに上昇

平成27年における一般世帯数（135万2413世帯）のうち、世帯主と親族関係にある世帯員がいる親族世帯は66万2775世帯（一般世帯数に占める割合49.1%）、単独世帯は65万7205世帯（同48.7%）となっている。

親族世帯のうち、核家族世帯は60万8983世帯（同45.1%）で、そのうち「夫婦と子供から成る世帯」は26万9051世帯（同19.9%）、「夫婦のみの世帯」は21万7696世帯（同16.1%）、「ひとり親と子供から成る世帯」は12万2236世帯（同9.1%）となっている。

平成7年以降、増加を続けている「単独世帯」については、平成27年においても平成22年からさらに増加し、割合も48.7%と増加を続けている。（表4-4）

※親族のみの世帯：二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯

※非親族を含む世帯：二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯

※単独世帯：世帯人員が一人の世帯

表4-4 世帯の家族類型別一般世帯数の推移(平成7年～平成27年)

| 世帯の家族類型 | 一般世帯数 (世帯) | | | | | 割合 (%) | | | | |
|-----------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| | 平成7年 | 12年 | 17年 | 22年 | 27年 | 平成7年 | 12年 | 17年 | 22年 | 27年 |
| 総数 | 1,084,456 | 1,149,047 | 1,203,312 | 1,311,523 | 1,352,413 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| A 親族のみの世帯 | 686,723 | 685,804 | 679,031 | 672,906 | 662,775 | 63.3 | 59.7 | 56.4 | 51.3 | 49.1 |
| ア 核家族世帯 | 604,172 | 610,626 | 610,631 | 611,570 | 608,983 | 55.7 | 53.1 | 50.7 | 46.7 | 45.1 |
| a 夫婦のみの世帯 | 186,796 | 204,056 | 208,913 | 211,935 | 217,696 | 17.2 | 17.8 | 17.4 | 16.2 | 16.1 |
| b 夫婦と子供から成る世帯 | 325,855 | 306,576 | 289,714 | 280,578 | 269,051 | 30.0 | 26.7 | 24.1 | 21.4 | 19.9 |
| c ひとり親と子供から成る世帯 | 91,521 | 99,994 | 112,004 | 119,057 | 122,236 | 8.4 | 8.7 | 9.3 | 9.1 | 9.1 |
| イ 核家族以外の世帯 | 82,551 | 75,178 | 68,400 | 61,336 | 53,792 | 7.6 | 6.5 | 5.7 | 4.7 | 4.0 |
| d 夫婦と親から成る世帯 | 10,097 | 9,849 | 9,066 | 8,159 | 6,839 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.5 |
| e 夫婦、子供と親から成る世帯 | 36,748 | 28,885 | 23,220 | 18,294 | 13,550 | 3.4 | 2.5 | 1.9 | 1.4 | 1.0 |
| f その他の世帯 | 35,706 | 36,444 | 36,114 | 34,883 | 33,403 | 3.3 | 3.2 | 3.0 | 2.7 | 2.5 |
| B 非親族を含む世帯 | 5,661 | 8,426 | 11,049 | 15,576 | 30,332 | 0.5 | 0.7 | 0.9 | 1.2 | 2.2 |
| C 単独世帯 | 392,072 | 454,817 | 513,232 | 622,010 | 657,205 | 36.2 | 39.6 | 42.7 | 47.5 | 48.7 |

※総数は世帯の家族類型「不詳」を含む。

※その他の世帯：①夫婦と他の親族（親、子供を含まない）から成る世帯、②夫婦、子供と他の親族（親を含まない）から成る世帯、③夫婦、親と他の親族（子供を含まない）から成る世帯、④夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯、⑤兄弟姉妹のみから成る世帯、⑥他に分類されない世帯

65歳以上の単独世帯（高齢単身者）の増加が続く。

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は47万4420世帯で、平成22年に比べて4万3872世帯の増加となっている。一般世帯数に占める割合は、平成27年には35.1%となっており、上昇が続いている。

65歳以上世帯員のいる一般世帯数を家族類型別にみると、「核家族世帯」が22万3138世帯と最も多く、次いで「単独世帯」が20万1070世帯、「核家族以外の世帯」が3万7944世帯となっている。

平成7年以降について65歳以上世帯員のいる一般世帯数の家族類型別割合の推移をみると、「核家族世帯」の割合は平成12年をピークに低下しており、平成27年は47.0%で平成22年からは0.8ポイント低下した。「単独世帯」の割合は平成7年から上昇が続いており、平成27年では42.4%とさらに上昇した。65歳以上世帯員のいる核家族世帯のうち、「夫婦のみの世帯」は11万6903世帯で、65歳以上世帯員のいる一般世帯数の24.6%となっており、平成22年と比べ0.9ポイント低下している。（表4-5）

表4-5 世帯の家族類型別 65歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移(平成7年～平成27年)

| 世帯の家族類型 | 65歳以上世帯員のいる一般世帯数 (世帯) | | | | | 割合 (%) | | | | |
|------------------|--------------------------|---------|---------|---------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 平成7年 | 12年 | 17年 | 22年 | 27年 | 平成7年 | 12年 | 17年 | 22年 | 27年 |
| 65歳以上世帯員のいる一般世帯数 | 273,760 | 325,168 | 382,415 | 430,548 | 474,420 | 100.0 (25.2) | 100.0 (28.3) | 100.0 (31.8) | 100.0 (32.9) | 100.0 (35.1) |
| A 親族のみの世帯 | 190,758 | 214,520 | 236,271 | 249,473 | 261,082 | 69.7 | 66.0 | 61.8 | 57.9 | 55.0 |
| ア 核家族世帯 | 131,144 | 161,137 | 187,485 | 205,590 | 223,138 | 47.9 | 49.6 | 49.0 | 47.8 | 47.0 |
| a うち夫婦のみの世帯 | 73,328 | 91,174 | 104,145 | 110,001 | 116,903 | 26.8 | 28.0 | 27.2 | 25.5 | 24.6 |
| イ 核家族以外の世帯 | 59,614 | 53,383 | 48,786 | 43,883 | 37,944 | 21.8 | 16.4 | 12.8 | 10.2 | 8.0 |
| B 非親族を含む世帯 | 713 | 990 | 1,371 | 4,153 | 12,268 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 1.0 | 2.6 |
| C 単独世帯 | 82,289 | 109,658 | 144,773 | 176,922 | 201,070 | 30.1 | 33.7 | 37.9 | 41.1 | 42.4 |

※（ ）内の数値は、一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合

5 住居の状態

持ち家率は44.0%に上昇

平成27年における住宅に住む一般世帯数（133万3086世帯）を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が58万6551世帯（住宅に住む一般世帯数の44.0%）と最も多く、次いで民営の借家が56万9328世帯（同42.7%）、府営や市営である公営の借家が10万2026世帯（同7.7%）、都市再生機構や住宅供給公社などの借家が3万8182世帯（同2.9%）、社宅などの給与住宅が2万6401世帯（同2.0%）などとなっている。

住宅に住む一般世帯数に占める持ち家の割合（持ち家率）の推移をみると、平成7年の37.8%以降上昇し、平成27年には平成22年から1.8ポイント上昇し44.0%となっている。民営の借家は平成7年の45.2%以降は低下しており、平成22年には43.5%と上昇に転じたが、平成27年は再び低下し、42.7%となった。公営の借家、公社の借家、間借りはそれぞれ0.5ポイント、0.2ポイント、0.3ポイントの低下となっており、給与住宅は0.1ポイントの上昇となっている（表5-1）

表5-1 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移（平成2年～平成27年）

| 年次 | | 住宅に住む一般世帯数 | | | | | | |
|-------------|------|------------|---------|---------|--------------|---------|--------|--------|
| | | 総数 | 持ち家 | 公営の借家 | 都市再生機構・公社の借家 | 民営の借家 | 給与住宅 | 間借り |
| 世帯数 (世帯) | 平成2年 | 989,152 | 390,289 | 134,130 | | 429,053 | 29,816 | 5,864 |
| | 7 | 1,058,155 | 399,838 | 106,241 | 34,553 | 477,968 | 32,974 | 6,581 |
| | 12 | 1,127,879 | 445,800 | 107,581 | 38,348 | 496,993 | 27,096 | 12,061 |
| | 17 | 1,188,290 | 496,237 | 108,208 | 42,103 | 508,073 | 22,499 | 11,170 |
| | 22 | 1,311,523 | 547,849 | 105,770 | 40,527 | 564,260 | 24,663 | 14,664 |
| | 27 | 1,333,086 | 586,551 | 102,026 | 38,182 | 569,328 | 26,401 | 10,598 |
| 割合 (%) | 平成2年 | 100.0 | 39.5 | 13.6 | | 43.4 | 3.0 | 0.6 |
| | 7 | 100.0 | 37.8 | 10.0 | 3.3 | 45.2 | 3.1 | 0.6 |
| | 12 | 100.0 | 39.5 | 9.5 | 3.4 | 44.1 | 2.4 | 1.1 |
| | 17 | 100.0 | 41.8 | 9.1 | 3.5 | 42.8 | 1.9 | 0.9 |
| | 22 | 100.0 | 42.2 | 8.2 | 3.1 | 43.5 | 1.9 | 1.1 |
| | 27 | 100.0 | 44.0 | 7.7 | 2.9 | 42.7 | 2.0 | 0.8 |

注）平成22年の総数は住宅の所有の関係「その他」を含む。割合は「その他」を除いて算出。

| 年次 | | 住宅に住む一般世帯数 | | | | | | |
|-------------|--------|------------|--------|---------|--------------|--------|---------|---------|
| | | 総数 | 持ち家 | 公営の借家 | 都市再生機構・公社の借家 | 民営の借家 | 給与住宅 | 間借り |
| 増減数 (世帯) | 平成2年～7 | 69,003 | 9,549 | — | — | 48,915 | 3,158 | 717 |
| | 7～12 | 69,724 | 45,962 | 1,340 | 3,795 | 19,025 | △ 5,878 | 5,480 |
| | 12～17 | 60,411 | 50,437 | 627 | 3,755 | 11,080 | △ 4,597 | △ 891 |
| | 17～22 | 123,233 | 51,612 | △ 2,438 | △ 1,576 | 56,187 | 2,164 | 3,494 |
| | 22～27 | 21,563 | 38,702 | △ 3,744 | △ 2,345 | 5,068 | 1,738 | △ 4,066 |
| 増減率 (%) | 平成2年～7 | 7.0 | 2.4 | — | — | 11.4 | 10.6 | 12.2 |
| | 7～12 | 6.6 | 11.5 | 1.3 | 11.0 | 4.0 | △ 17.8 | 83.3 |
| | 12～17 | 5.4 | 11.3 | 0.6 | 9.8 | 2.2 | △ 17.0 | △ 7.4 |
| | 17～22 | 10.4 | 10.4 | △ 2.3 | △ 3.7 | 11.1 | 9.6 | 31.3 |
| | 22～27 | 1.6 | 7.1 | △ 3.5 | △ 5.8 | 0.9 | 7.0 | △ 27.7 |

持ち家率は、西淀川区が最も高い

平成 27 年における住宅に住む一般世帯数の持ち家率を区別にみると、西淀川区が 57.4%と最も高く、次いで阿倍野区が 57.0%、生野区が 53.8%、城東区が 52.6%、東住吉区が 52.4%などとなっている。一方、持ち家率が最も低いのは浪速区で 16.2%、次いで東淀川区が 31.8%、西成区が 33.8%などとなっている。

持ち家率を平成 22 年と比べると、生野区が 4.2 ポイントと最も上昇しており、続いて西成区が 4.1 ポイント、住吉区が 3.6%上昇した。対して、中央区では 1.6 ポイント低下しており、続いて福島区が 1.2 ポイント、天王寺区が 1.0 ポイント低下した。(表 5-2)

表5-2 住宅に住む一般世帯の持ち家率(平成 22 年、27 年)

(%)

| 区名 | 持ち家率 | | 区名 | 持ち家率 | |
|------|-------|------|------|-------|------|
| | 平成22年 | 27年 | | 平成22年 | 27年 |
| 大阪市 | 42.2 | 44.0 | | | |
| 北区 | 36.5 | 37.6 | 東淀川区 | 29.8 | 31.8 |
| 都島区 | 46.7 | 48.3 | 東成区 | 48.7 | 49.0 |
| 福島区 | 46.6 | 45.4 | 生野区 | 49.6 | 53.8 |
| 此花区 | 47.8 | 49.5 | 旭区 | 49.4 | 51.2 |
| 中央区 | 36.9 | 35.3 | 城東区 | 50.6 | 52.6 |
| 西区 | 40.7 | 41.3 | 鶴見区 | 49.3 | 51.0 |
| 港区 | 42.8 | 45.6 | 阿倍野区 | 54.9 | 57.0 |
| 大正区 | 48.6 | 51.0 | 住之江区 | 45.9 | 48.4 |
| 天王寺区 | 47.2 | 46.2 | 住吉区 | 37.7 | 41.3 |
| 浪速区 | 15.2 | 16.2 | 東住吉区 | 49.2 | 52.4 |
| 西淀川区 | 54.6 | 57.4 | 平野区 | 38.2 | 39.5 |
| 淀川区 | 40.2 | 43.5 | 西成区 | 29.7 | 33.8 |

一戸建の割合は 25.9%に上昇

平成 27 年における住宅に住む一般世帯数（133 万 3086 世帯）を住宅の建て方別にみると、共同住宅が 94 万 4144 世帯（住宅に住む一般世帯数の 70.8%）と最も多く、次いで一戸建が 34 万 5078 世帯（同 25.9%）、長屋建が 4 万 148 世帯（同 3.0%）、などとなっている。

住宅に住む一般世帯数に占める割合の推移をみると、一戸建は平成 12 年の 23.7%以降低下していたが、平成 27 年は 25.9%と平成 22 年に比べて 3 ポイント上昇している。共同住宅は、平成 2 年以降上昇を続けており、長屋建は平成 2 年以降低下を続けている。(表 5-3)

住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数を区別に見ると、区における一戸建の割合は、生野区が 47.9%と最も高く、次いで東住吉区が 43.1%、大正区が 40.2%などとなっている。共同住宅の割合は、浪速区が 92.2%と最も高く、次いで西区が 89.8%、北区が 89.5%などとなっている。(表 5-4)

表5-3 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数の推移(平成2年～平成27年)

| 年次 | | 住宅に住む一般世帯数 | | | | |
|-------------|------|------------|---------|---------|---------|-------|
| | | 総数 | 一戸建 | 長屋建 | 共同住宅 | その他 |
| 世帯数 (世帯) | 平成2年 | 989,152 | 221,017 | 179,704 | 584,713 | 3,718 |
| | 7 | 1,058,155 | 232,634 | 159,262 | 663,026 | 3,233 |
| | 12 | 1,127,879 | 267,312 | 127,086 | 729,024 | 4,457 |
| | 17 | 1,188,290 | 280,798 | 104,718 | 799,138 | 3,636 |
| | 22 | 1,297,733 | 297,672 | 85,566 | 908,700 | 5,368 |
| | 27 | 1,333,086 | 345,078 | 40,148 | 944,144 | 3,716 |
| 割合 (%) | 平成2年 | 100.0 | 22.3 | 17.0 | 55.3 | 0.4 |
| | 7 | 100.0 | 22.0 | 15.1 | 62.7 | 0.3 |
| | 12 | 100.0 | 23.7 | 11.3 | 64.6 | 0.4 |
| | 17 | 100.0 | 23.6 | 8.8 | 67.3 | 0.3 |
| | 22 | 100.0 | 22.9 | 6.6 | 70.0 | 0.4 |
| | 27 | 100.0 | 25.9 | 3.0 | 70.8 | 0.3 |

注) 平成22年の総数は住宅の建て方「不詳」含む。割合は「不詳」を除いた総数で算出。

| 年次 | | 住宅に住む一般世帯数 | | | | |
|-------------|--------|------------|--------|----------|---------|--------|
| | | 総数 | 一戸建 | 長屋建 | 共同住宅 | その他 |
| 増減数 (世帯) | 平成2年～7 | 69,003 | 11,617 | △ 20,442 | 78,313 | △ 485 |
| | 7～12 | 69,724 | 34,678 | △ 32,176 | 65,998 | 1,224 |
| | 12～17 | 60,411 | 13,486 | △ 22,368 | 70,114 | △ 821 |
| | 17～22 | 144,796 | 64,280 | △ 64,570 | 145,006 | 80 |
| 増減率 (%) | 平成2年～7 | 7.0 | 5.3 | △ 11.4 | 13.4 | △ 13.0 |
| | 7～12 | 6.6 | 14.9 | △ 20.2 | 10.0 | 37.9 |
| | 12～17 | 5.4 | 5.0 | △ 17.6 | 9.6 | △ 18.4 |
| | 17～22 | 12.2 | 22.9 | △ 61.7 | 18.1 | 2.2 |

表5-4 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数（平成27年）

（世帯、％）

| 区名 | 総数 | 一戸建 | | 長屋建 | | 共同住宅 | | その他 | |
|-----|-----------|---------|------|--------|------|---------|------|-------|-----|
| | | | 割合 | | 割合 | | 割合 | | 割合 |
| 大阪市 | 1,333,086 | 345,078 | 25.9 | 40,148 | 3.0 | 944,144 | 70.8 | 3,716 | 0.3 |
| 北 | 73,260 | 6,959 | 9.5 | 530 | 0.7 | 65,559 | 89.5 | 212 | 0.3 |
| 都島 | 51,219 | 9,534 | 18.6 | 969 | 1.9 | 40,641 | 79.3 | 75 | 0.1 |
| 福島 | 37,112 | 7,621 | 20.5 | 1,176 | 3.2 | 28,231 | 76.1 | 84 | 0.2 |
| 此花 | 29,916 | 9,176 | 30.7 | 431 | 1.4 | 20,212 | 67.6 | 97 | 0.3 |
| 中央 | 57,940 | 5,188 | 9.0 | 495 | 0.9 | 51,827 | 89.4 | 430 | 0.7 |
| 西 | 51,616 | 4,890 | 9.5 | 199 | 0.4 | 46,363 | 89.8 | 164 | 0.3 |
| 港 | 39,622 | 11,208 | 28.3 | 499 | 1.3 | 27,810 | 70.2 | 105 | 0.3 |
| 大正 | 28,797 | 11,585 | 40.2 | 673 | 2.3 | 16,455 | 57.1 | 84 | 0.3 |
| 天王寺 | 37,547 | 6,071 | 16.2 | 282 | 0.8 | 31,033 | 82.7 | 161 | 0.4 |
| 浪速 | 46,961 | 3,384 | 7.2 | 79 | 0.2 | 43,293 | 92.2 | 205 | 0.4 |
| 西淀川 | 41,994 | 14,311 | 34.1 | 887 | 2.1 | 26,700 | 63.6 | 96 | 0.2 |
| 淀川 | 93,102 | 19,607 | 21.1 | 2,276 | 2.4 | 71,056 | 76.3 | 163 | 0.2 |
| 東淀川 | 91,516 | 20,092 | 22.0 | 911 | 1.0 | 70,380 | 76.9 | 133 | 0.1 |
| 東成 | 39,028 | 14,365 | 36.8 | 1,594 | 4.1 | 22,953 | 58.8 | 116 | 0.3 |
| 生野 | 62,855 | 30,135 | 47.9 | 6,268 | 10.0 | 26,294 | 41.8 | 158 | 0.3 |
| 旭 | 43,184 | 16,483 | 38.2 | 1,183 | 2.7 | 25,421 | 58.9 | 97 | 0.2 |
| 城東 | 75,593 | 19,577 | 25.9 | 2,003 | 2.6 | 53,891 | 71.3 | 122 | 0.2 |
| 鶴見 | 45,911 | 13,828 | 30.1 | 1,440 | 3.1 | 30,580 | 66.6 | 63 | 0.1 |
| 阿倍野 | 49,331 | 17,046 | 34.6 | 2,186 | 4.4 | 29,972 | 60.8 | 127 | 0.3 |
| 住之江 | 56,475 | 12,738 | 22.6 | 2,226 | 3.9 | 41,427 | 73.4 | 84 | 0.1 |
| 住吉 | 70,818 | 22,192 | 31.3 | 2,057 | 2.9 | 46,480 | 65.6 | 89 | 0.1 |
| 東住吉 | 57,331 | 24,709 | 43.1 | 4,257 | 7.4 | 28,250 | 49.3 | 115 | 0.2 |
| 平野 | 88,479 | 25,551 | 28.9 | 3,016 | 3.4 | 59,733 | 67.5 | 179 | 0.2 |
| 西成 | 63,479 | 18,828 | 29.7 | 4,511 | 7.1 | 39,583 | 62.4 | 557 | 0.9 |

6 外国人人口

外国人人口に占める「韓国、朝鮮」の割合は大幅に低下。

大阪市の外国人人口の割合を国籍別に見ると、「韓国、朝鮮」が52.2%で最も高く、次いで中国が15.9%となっている。

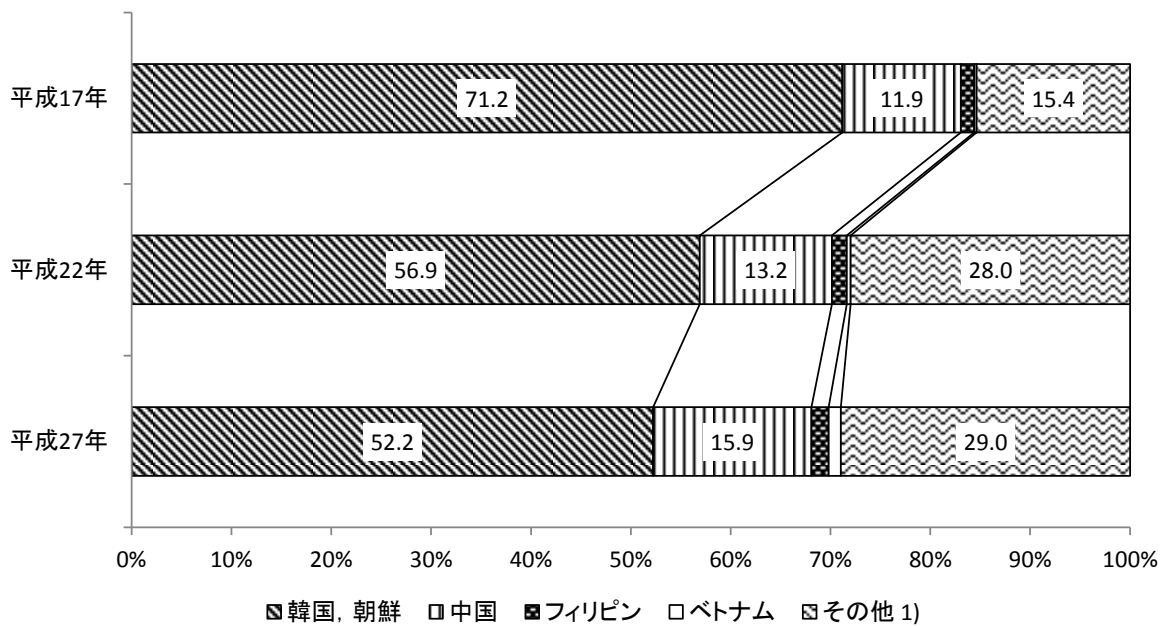
平成17年以降について国籍別外国人人口の推移をみると、「韓国、朝鮮」の割合は一貫して低下しており、この平成17年から27年の10年間で2割程度低下した。一方で、「中国」、「フィリピン」、「ベトナム」は一貫して上昇している。（表6-1、図6-1）

表6-1 国籍別外国人人口の推移

| | 実数（人） | | | 割合（％） | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 |
| 総数（国籍） | 99,783 | 96,675 | 79,568 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 韓国、朝鮮 | 71,023 | 55,012 | 41,555 | 71.2 | 56.9 | 52.2 |
| 中国 | 11,848 | 12,793 | 12,621 | 11.9 | 13.2 | 15.9 |
| フィリピン | 1,353 | 1,455 | 1,385 | 1.4 | 1.5 | 1.7 |
| ベトナム | 218 | 373 | 952 | 0.2 | 0.4 | 1.2 |
| その他 | 15,341 | 27,042 | 23,055 | 15.4 | 28.0 | 29.0 |

注）「その他」には無国籍及び国名不詳を含む。

図6-1 国籍別外国人人口の推移



1) 無国籍及び国名不詳を含む

市内の外国人人口に占める生野区の占有率は2割程度まで低下。

大阪市の外国人人口に占める各区の割合を見ると、生野区が20.6%と突出して高く、次いで浪速区(7.0%)、平野区(6.9%)となっている。

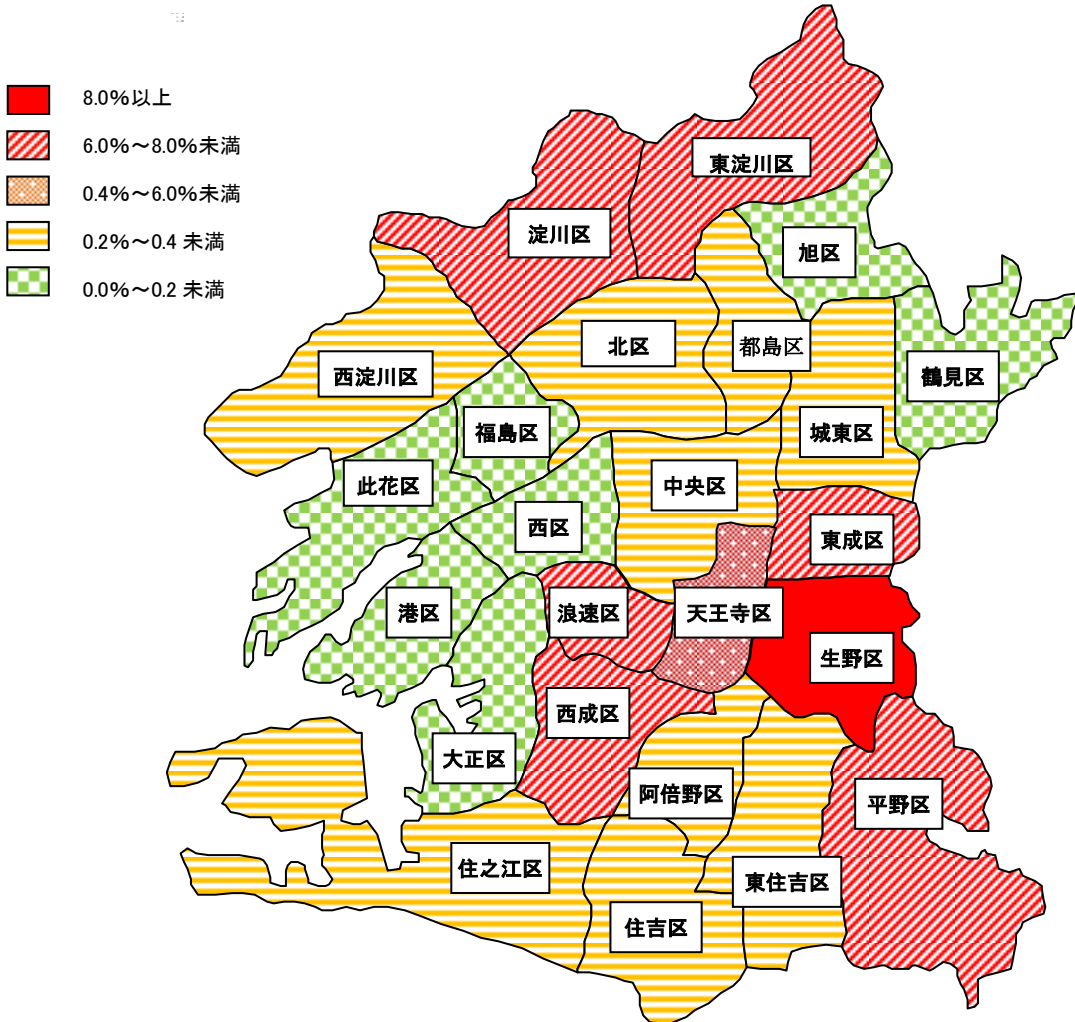
平成17年以降の推移を見ると、生野区では一貫して低下しており、平成17年から27年の10年間で8.8ポイント低下した。一方で、浪速区や淀川区、東淀川区などでは上昇している。(表6-2)

表6-2 大阪市の外国人人口に占める各区の割合

| | 実数(人) | | | 割合(%) ¹⁾ | | | 平成17年と27年の差(ポイント) ¹⁾ |
|------|--------|--------|--------|---------------------|-------|-------|---------------------------------|
| | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | |
| 大阪市 | 99,783 | 96,675 | 79,568 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | — |
| 北区 | 3,144 | 3,042 | 3,063 | 3.2 | 3.1 | 3.8 | 0.7 |
| 都島区 | 2,498 | 1,989 | 1,749 | 2.5 | 2.1 | 2.2 | △0.3 |
| 福島区 | 1,012 | 868 | 691 | 1.0 | 0.9 | 0.9 | △0.1 |
| 此花区 | 1,121 | 1,241 | 1,022 | 1.1 | 1.3 | 1.3 | 0.2 |
| 中央区 | 4,265 | 4,261 | 2,155 | 4.3 | 4.4 | 2.7 | △1.6 |
| 西区 | 1,738 | 2,270 | 1,428 | 1.7 | 2.3 | 1.8 | 0.1 |
| 港区 | 1,761 | 2,039 | 1,543 | 1.8 | 2.1 | 1.9 | 0.2 |
| 大正区 | 1,082 | 1,092 | 918 | 1.1 | 1.1 | 1.2 | 0.1 |
| 天王寺区 | 3,100 | 2,830 | 3,363 | 3.1 | 2.9 | 4.2 | 1.1 |
| 浪速区 | 3,104 | 4,002 | 5,605 | 3.1 | 4.1 | 7.0 | 3.9 |
| 西淀川区 | 2,671 | 2,629 | 2,335 | 2.7 | 2.7 | 2.9 | 0.3 |
| 淀川区 | 3,994 | 4,160 | 4,806 | 4.0 | 4.3 | 6.0 | 2.0 |
| 東淀川区 | 4,723 | 4,675 | 4,812 | 4.7 | 4.8 | 6.0 | 1.3 |
| 東成区 | 6,705 | 5,931 | 5,071 | 6.7 | 6.1 | 6.4 | △0.3 |
| 生野区 | 29,312 | 27,260 | 16,369 | 29.4 | 28.2 | 20.6 | △8.8 |
| 旭区 | 1,655 | 1,585 | 1,274 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | △0.1 |
| 城東区 | 3,901 | 3,877 | 3,118 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 0.0 |
| 鶴見区 | 1,698 | 1,477 | 1,443 | 1.7 | 1.5 | 1.8 | 0.1 |
| 阿倍野区 | 1,524 | 1,668 | 1,608 | 1.5 | 1.7 | 2.0 | 0.5 |
| 住之江区 | 2,468 | 2,534 | 2,171 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 0.3 |
| 住吉区 | 2,883 | 2,967 | 2,526 | 2.9 | 3.1 | 3.2 | 0.3 |
| 東住吉区 | 2,522 | 2,543 | 2,095 | 2.5 | 2.6 | 2.6 | 0.1 |
| 平野区 | 6,377 | 6,327 | 5,474 | 6.4 | 6.5 | 6.9 | 0.5 |
| 西成区 | 6,525 | 5,408 | 4,929 | 6.5 | 5.6 | 6.2 | △0.3 |

1) 単位未満は四捨五入している。

図6-2 大阪市の外国人人口に占める各区の割合



(参考) 結果の公表について

総務省統計局における今後の結果公表に関する予定は、次のとおりです。

〈平成27年国勢調査結果の集計・公表計画〉

| 集計区分 | | 集計内容 | 全国結果の公表 予定時期 |
|---------------|--------------------------|---|-------------------|
| 速報集計 | 人口速報集計 | 男女別人口及び世帯数の早期提供 | 平成28年2月 公表済み |
| | 抽出速報集計 | 全調査事項に係る主要な結果の早期提供 | 平成28年6月 公表済み |
| 基本集計 | 人口等基本集計 | 人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果 | 平成28年10月 公表済み |
| | 就業状態等基本集計 | 人口の労働力状態、夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成に関する結果 | 平成29年4月* |
| | 世帯構造等基本集計 | 母子・父子世帯、親子の同居等の世帯の状況に関する結果 | 平成29年9月* |
| 抽出詳細集計 | | 就業者の産業・職業小分類別構成等に関する詳細な結果 | 平成29年12月* |
| 従業地・通学地 集計 | 従業地・通学地による 人口・就業状態等集計 | 従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の 産業・職業大分類別構成に関する結果 | 平成29年6月 |
| | 従業地・通学地による 抽出詳細集計 | 従業地による就業者の産業・職業中分類別構成に関する 詳細な結果 | 平成29年12月 |
| 小地域集計 | | 基本集計及び従業地・通学地集計に関する基本的な結果の町丁・字等の小地域の結果 | 該当する基本集計等の公表 後 |

*集計の完了した都道府県から順次公表